

帳票設計ツール

操作説明書

Ver. 2.0

このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

著作権

Copyright (c) 2009-2014 AP-REFINE Inc. All Rights Reserved.

このマニュアルの一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

商標

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

はじめに

この度は当社ソフト『帳票設計ツール Ver. 2.0』（以下「帳票設計ツール」と表記）を採用頂きましてありがとうございます。

帳票設計ツールは、帳票レイアウトをパソコンで簡単に作成できるツールです。現品票や荷札ラベル、作業指示書作成の工数削減につながります。

帳票設計ツールをご使用いただく前にインストール時に表示されますソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

製品の仕様は、将来予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気付きの点がありましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

2014年4月

目次

はじめに.....	2
目次.....	3
第1章 概要.....	6
1. 帳票設計ツールとは.....	6
2. 特長.....	6
2.1. レイアウト作成.....	6
2.2. データ取り込み.....	7
2.3. バーコード・2次元コード作成機能.....	7
2.4. 出力機能.....	8
第2章 動作環境・インストール.....	9
1. 動作環境.....	9
1.1. 対応OS.....	9
1.2. 動作保証.....	9
2. インストール方法.....	9
2.1. 帳票設計ツールをインストールするには.....	9
3. アンインストール.....	12
4. アプリケーションの起動・終了.....	13
4.1. スタートメニューからの起動.....	13
4.2. ショートカットアイコンからの起動.....	13
4.3. アプリケーションの終了.....	13
5. プリンタの追加インストール.....	14
第3章 画面遷移・画面の説明.....	16
1. 画面遷移.....	16
2. 画面説明.....	17
2.1. メイン画面.....	17
2.2. テンプレート選択画面.....	22
2.3. データ定義画面.....	22
2.4. RFID/QR 定義画面.....	23
2.5. ページ設定画面.....	23
2.6. プレビュー画面.....	24
2.7. 環境設定画面.....	24
第4章 オブジェクトの種類と動作.....	25
1. オブジェクトの種類.....	25
2. 図形オブジェクトの特徴.....	26
3. 固定値オブジェクト.....	26
4. イメージオブジェクト.....	26
5. 変数オブジェクト.....	27
6. その他特殊なオブジェクト.....	27
第5章 操作の説明.....	28
1. 帳票レイアウトを開く.....	28

1. 1	帳票レイアウトを新規作成する.....	28
1. 2	既存の帳票レイアウトを開く	28
1. 3	テンプレートの帳票レイアウトを開く.....	29
2.	オブジェクトを配置して帳票レイアウトを作成する	30
2. 1	オブジェクトを配置する	30
2. 2	配置済みオブジェクトを選択する.....	31
2. 3	配置済みオブジェクトのプロパティを変更する	31
3.	変数オブジェクトに出力内容を定義する.....	32
4.	RFID/QR コードに出力内容を定義する	34
4. 1	定義画面の表示	34
4. 2	データ項目の追加	34
4. 3	データ項目の削除	35
4. 4	データ項目並び替え	36
4. 5	データ形式の変更	36
4. 6	バイト数の変更	37
4. 7	設定情報の更新	37
5.	部分消去オブジェクトを活用する.....	38
6.	帳票を印刷する	39
6. 1	ページ設定を行う	39
6. 2	サンプルテキスト印刷	40
6. 3	CSV 差込印刷.....	40
6. 4	印刷のデフォルト設定	41
6. 5	サンプルテキストプレビュー	41
6. 6	CSV 差込印刷プレビュー.....	42
6. 7	プレビューのデフォルト設定	42
7.	レイアウト定義ファイルを出力する.....	43
8.	帳票レイアウトを保存する	44
8. 1	名前を付けて保存	44
8. 2	上書き保存.....	45
8. 3	線を描画するには	45
8. 4	四角形を描画するには	46
8. 5	文字を入力するには	47
8. 6	データを入力するには	48
8. 7	バーコード・2次元コード(QR コード)を入力するには.....	49
8. 8	画像を挿入するには	50
8. 9	表を挿入するには	51
8. 10	非表示データを入力するには	53
8. 11	ページ番号を挿入するには	53
8. 12	部分消去するには	54
9.	帳票レイアウトをテンプレートとして保存する.....	56
9. 1	環境設定画面の表示	57
9. 2	プリンタ種類の選択	57
9. 3	プリンタの設定	57
9. 4	プリンタの選択	57

9.5	用紙種類の選択	57
9.6	印字向きの選択	58
9.7	レイアウトサイズ設定	58
9.8	一般設定	58
9.9	RFID 設定	58
10.	プリンタ設定	59
10.1	環境設定ツールの起動	59
10.2	機器設定	59
10.3	リライト詳細設定画面	60
10.4	サーマルラベル詳細設定画面	61
第6章	サポート	62
1.	サポートの範囲	62

第1章 概要

1. 帳票設計ツールとは

帳票設計ツールは、帳票のレイアウトを作成するツールです。作業指示書や業務用ラベルのレイアウトを作成し、各種プリンタへ出力することができます。業務システムなどで作成されたCSVファイルのデータの取り込みが可能です。主な機能には、CSVデータ取り込み機能、表作成機能、バーコード・2次元コード作成機能、及び、リライトカードプリンタやサーマルラベルプリンタ、モバイルプリンタ、Windows用プリンタへの出力機能等があり、レイアウト確認しながら必要なデータのみを絞り込み印刷することができます。

2. 特長

2.1. レイアウト作成

マウス操作でイメージ通りのレイアウトを作成できます。

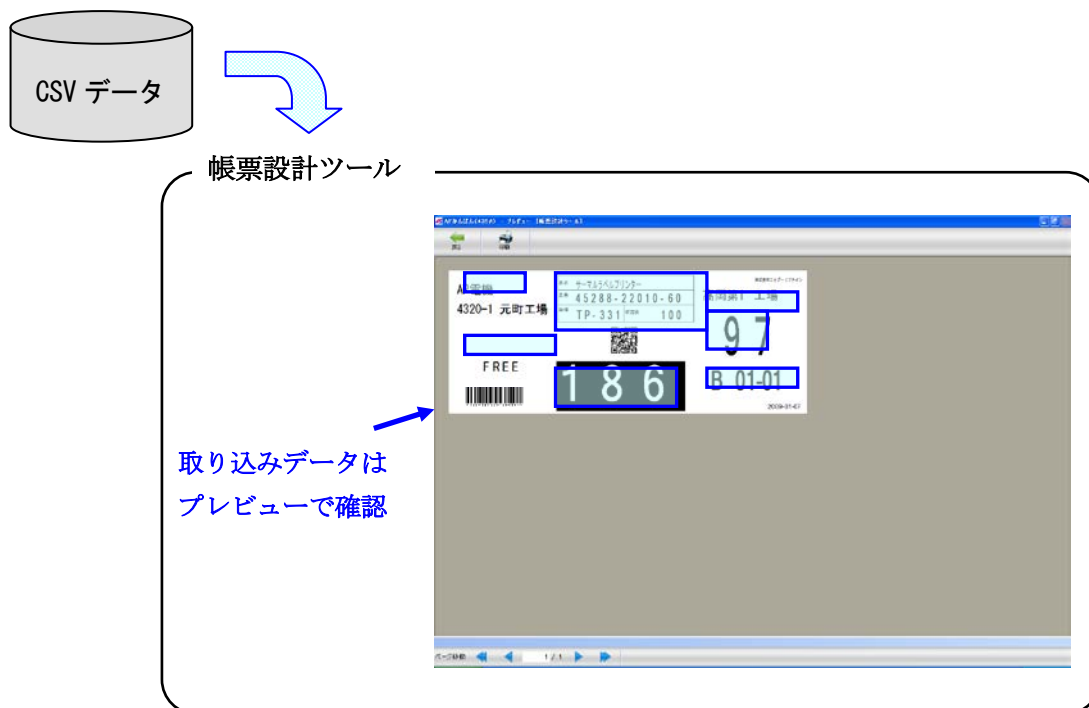
フォント、位置、線の太さなどの変更は画面右側の情報ビューから操作できます。一度作成したレイアウトの線・枠の編集やテキストの追加も簡単な操作で行えます。更に、表の挿入も行数と列数を指定することで作成できます。



2.2. データ取り込み

CSV ファイルからのデータの取り込みが行えます。

取り込み対象となる CSV ファイルを選択することにより、データをレイアウトの書式に取り込みます。取り込んだデータはプレビュー画面のレイアウト上で確認できます。



2.3. バーコード・2次元コード作成機能

バーコードや2次元コード(QRコード)をレイアウトに付加できます。帳票設計ツールでは、バーコード、2次元コードのデータ設定も定義画面で行えます。



2.4. 出力機能

帳票設計ツールで作成したレイアウトは、各種プリンタで出力することができます。業務用ラベルを印刷するサーマルラベルプリンタや、リライトプリンタでの印刷に利用できます。また、作成したレイアウト定義ファイルは、帳票発行ツールで利用することができます。

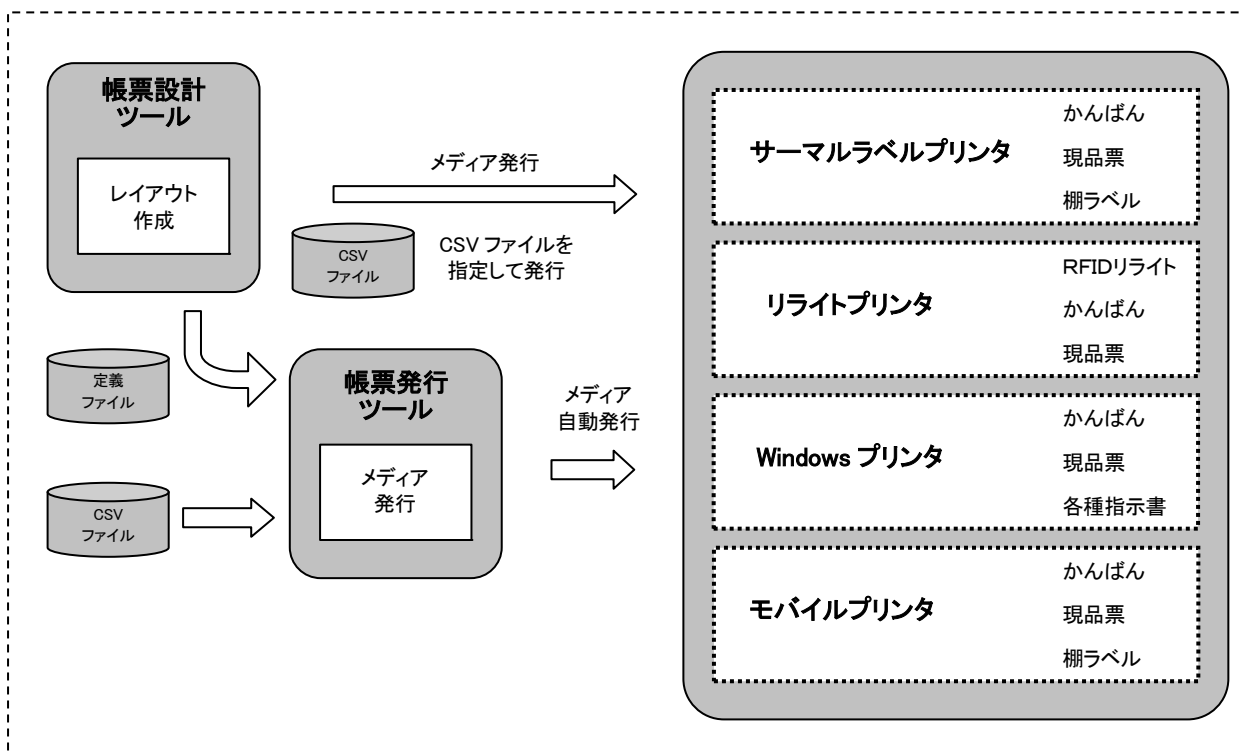


図 各種プリンタへの出力

第2章 動作環境・インストール

1. 動作環境

1.1. 対応OS

Windows 7 SP1 日本語版
Windows2000 Professional SP4 日本語版
Windows2000 Server SP4 日本語版
Windows XP Professional SP1以降 日本語版
Windows XP Home Edition SP1以降 日本語版
Windows Server 2003 SP1 日本語版

CPU：最低 1GHz 以上の CPU
必要メモリ：最低 512MB、1GB 以上を推奨
HDD：約 5MB
ソフトウェア：.NET Framework2.0 以降

1.2. 動作保証

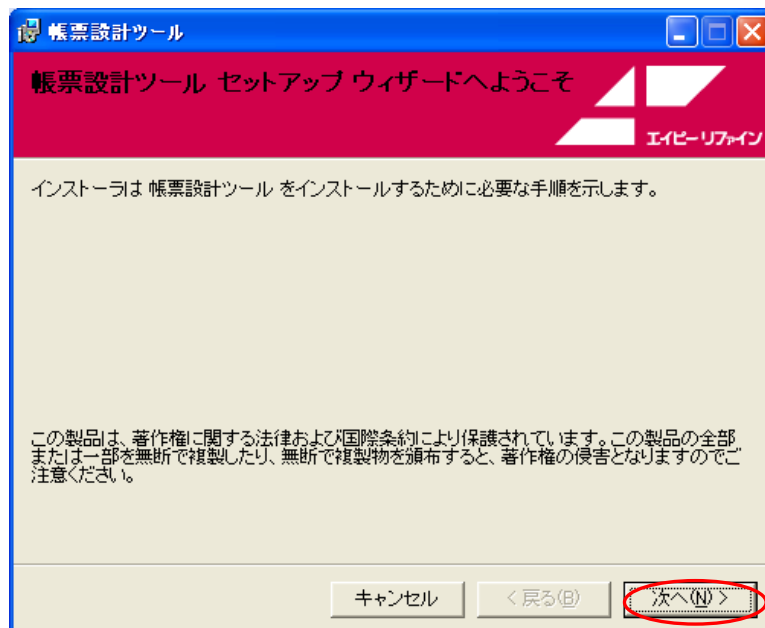
帳票設計ツールの動作確認は一般的な運用を想定した動作検証を実施しており、全ての他社アプリケーションとの共存環境での検証を実施するには至っておりません。従いまして、本プログラムは全ての環境での動作を保証するものではありません。

2. インストール方法

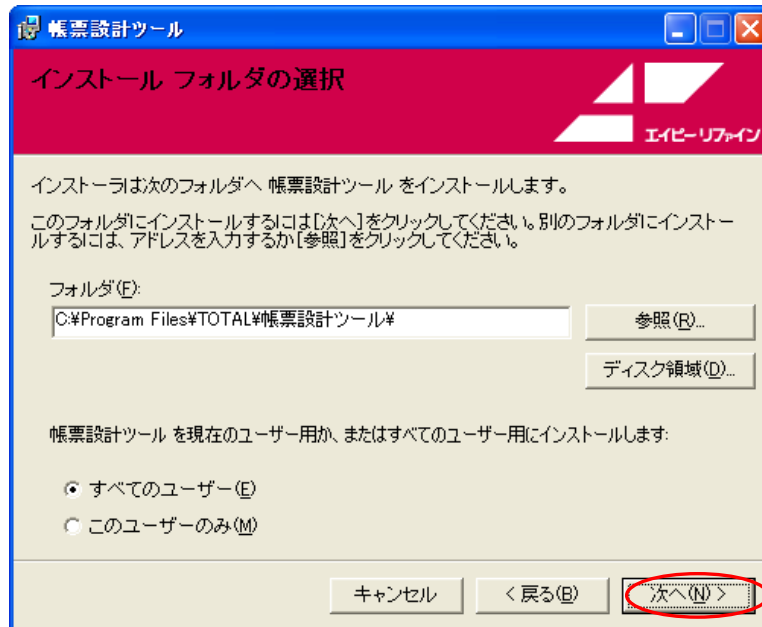
帳票設計ツールはインストール CD でインストールします。

2.1. 帳票設計ツールをインストールするには

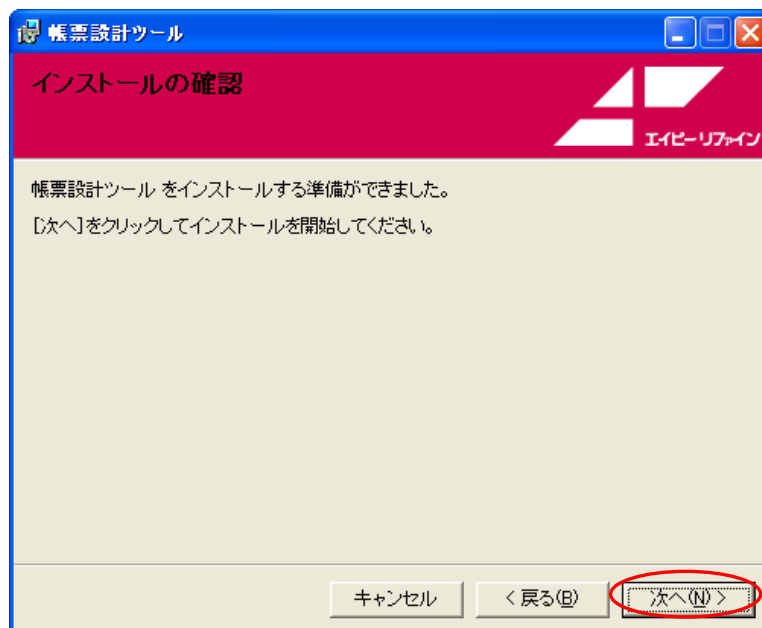
- (1) 帳票設計ツール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- (2) 帳票設計ツールウィンドウで [setup.exe] をダブルクリックします。
- (3) インストールの開始ウィンドウが表示されますので指示に従って進めてください。
- (4) [次へ(N)] をクリックします。



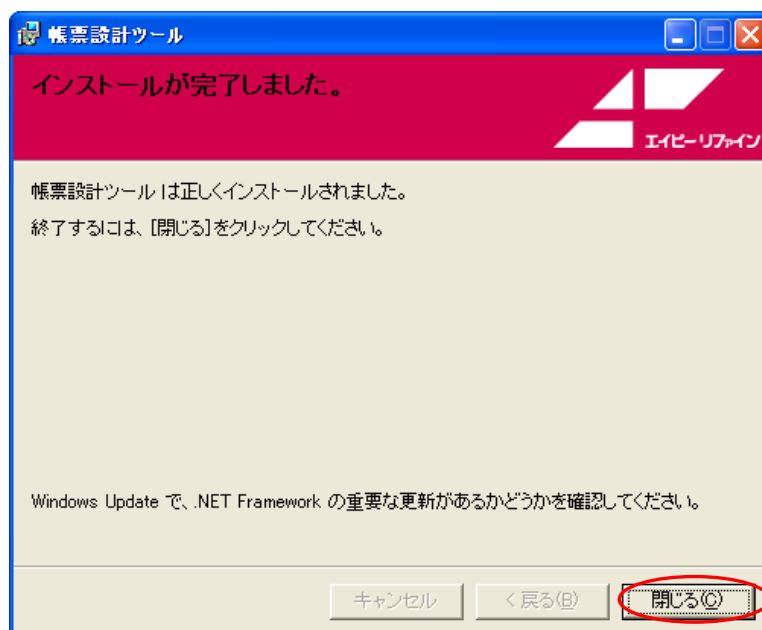
- (5) ソフトウェア使用許諾書を読み [同意する] を選択します。
 [同意する]を選択しないとインストールは続行できません。
- (6) [次へ (N)] をクリックします。



- (7) [参照 (R)] をクリックし、帳票設計ツールのインストール先フォルダを選択します。
 標準では、“C:\Program Files\TOTAL\帳票設計ツール\”にインストールします。
- (8) [次へ (N)] をクリックします。
 指定のフォルダが存在しない場合は新規に作成します。
- (9) インストールする場所を確認してから [次へ (N)] をクリックします。



(10) [閉じる(C)] をクリックしてインストールを終了します。



3. アンインストール

コンピュータから帳票設計ツールを削除する必要がある場合はWindowsのコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を使います。

- (1) Windowsのタスクバーで「スタート」、[コントロールパネル(C)]の順に選択します。
- (2) コントロールパネルで「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。
- (3) 現在インストールされているプログラムのリストから「帳票設計ツール」を選択します。
- (4) 「削除」をクリックします。
- (5) 「コンピュータから帳票設計ツールを削除しますか?」に対して、「はい(Y)」をクリックします。



4. アプリケーションの起動・終了


4.1. スタートメニューからの起動

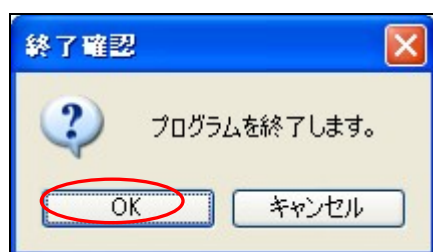
Windows のタスクバーで [スタート] → [すべてのプログラム(P)] → [TOTAL] → [帳票設計ツール] → [帳票設計ツール Ver. 1.1] の順に選択します。

4.2. ショートカットアイコンからの起動

デスクトップ上にある帳票設計ツールのアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動することが出来ます。

4.3. アプリケーションの終了

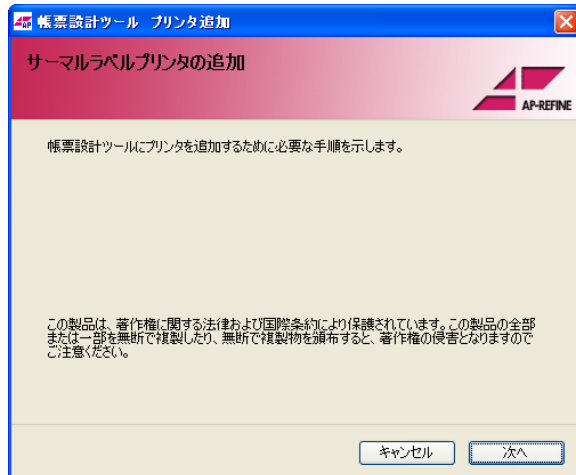
メイン画面のメニューバー[ファイル] [閉じる] を選択してプログラムを終了します。
その他にメイン画面の  をクリックしてプログラムを終了することが出来ます。
終了確認画面の [OK] をクリックしてプログラムを終了します。



5. プリンタの追加インストール

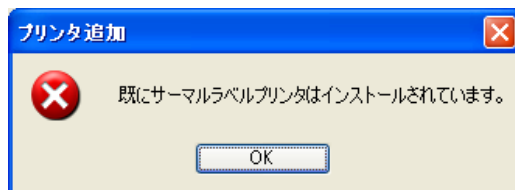
帳票設計ツールにリライアントプリンタ、サーマルラベルプリンタ、モバイルプリンタをインストールします。インストールは帳票設計ツールをインストール後に「プリンタ追加インストーラ CD」で行います。

- (1) CD を CD-ROM ドライブに挿入し、CD の「PrinterSetup.exe」を起動します。
- (2) インストールの作業ウィンドウが表示されます。

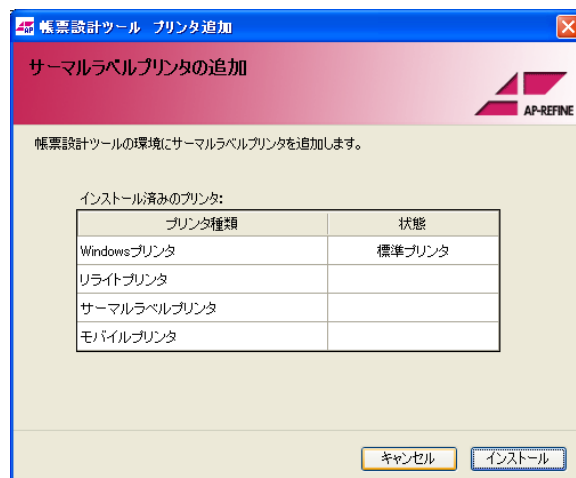


※対象のプリンタが既にインストール済みの場合は、メッセージが表示されます。

[OK] をクリック後、作業ウィンドウの [キャンセル] をクリックして終了します。



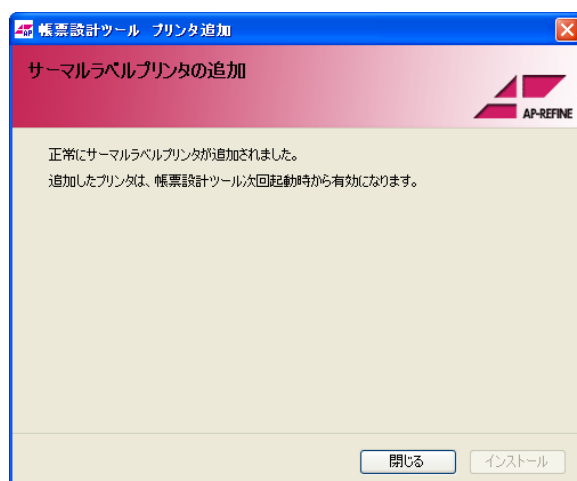
- (3) [次へ] をクリックします。



インストール済みのプリンタを表示します。

- (4) [インストール] をクリックします。

(4) 正常にインストールが終了すると、以下の画面を表示します。

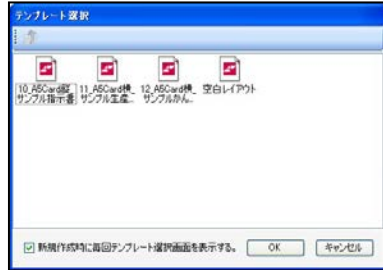


(5) [閉じる] をクリックしてインストールを終了します。
帳票設計ツールを起動している場合は、再起動後に追加したプリンタが有効になります。

第3章 画面遷移・画面の説明

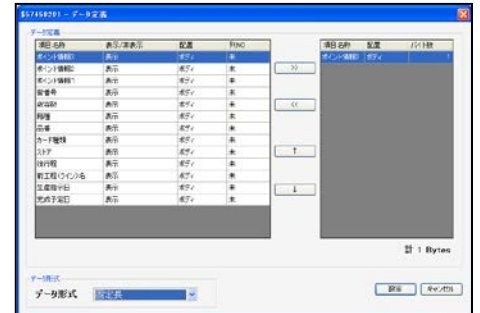
1. 画面遷移

【テンプレート選択画面】



新規起動時、テンプレート選択画面を表示します。

【RFID/QR 定義画面】



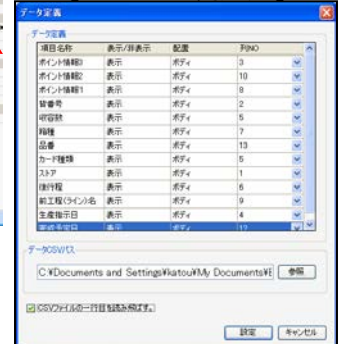
【レイアウト作成画面】



RFID/QR コードに定義するデータを指定します。

CSV ファイルを指定し、項目毎にデータ定義します。

【データ定義画面】



作成したレイアウトの出力内容を確認します。表示データは(サンプルテキスト、CSV 差込)の2種類から選べます。

【プレビュー画面】

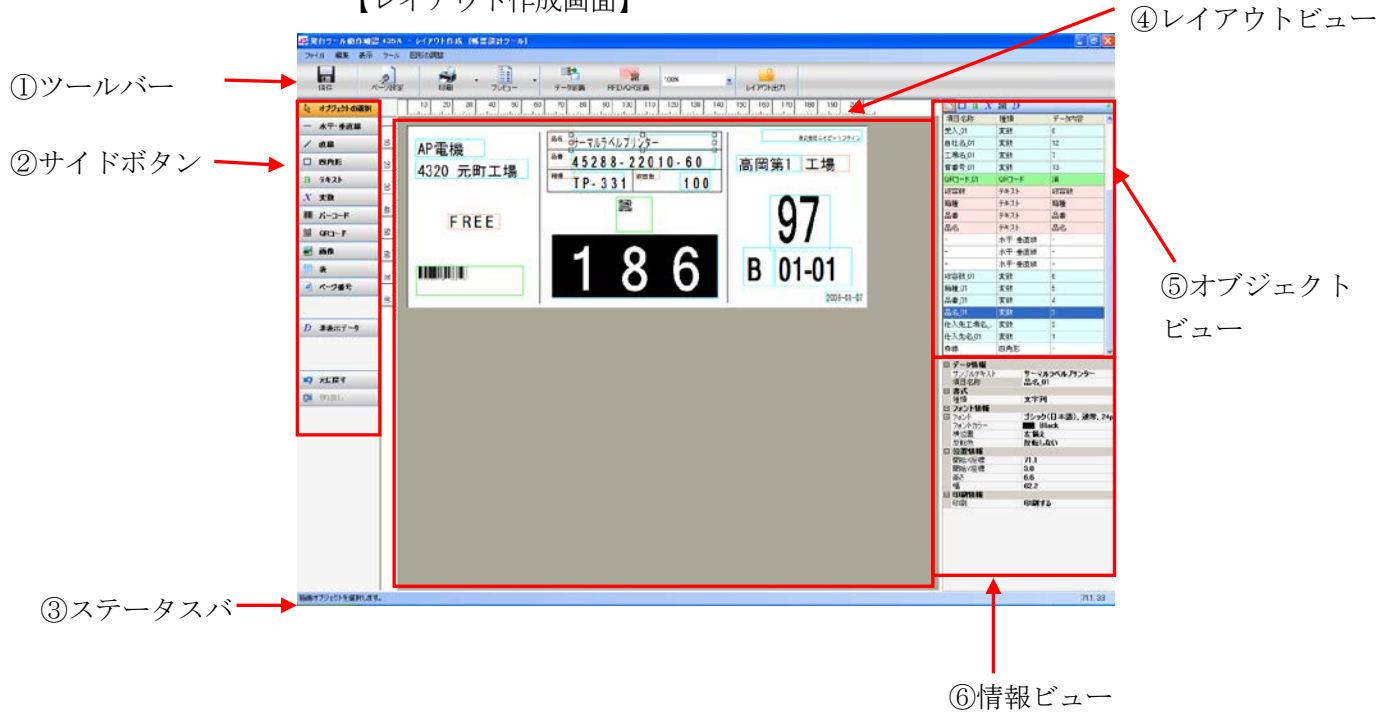


2. 画面説明

2.1 メイン画面

帳票レイアウトを作成する為の画面です。オブジェクト（直線やテキスト、バーコードなど）配置に必要な機能および、配置済みオブジェクトの一覧や、各オブジェクトのプロパティを表示します。

【レイアウト作成画面】



- ① ツールバー : よく利用する機能をすばやく呼び出す為のボタンを表示しています。
- ② サイドボタン : オブジェクトを配置する為のボタンを表示しています。
- ③ ステータスバー : 各機能の説明や、アプリケーションの状態を表示します。
- ④ レイアウトビュー : 作成中のレイアウトを表示します。
- ⑤ オブジェクトビュー : レイアウト内のオブジェクト一覧を表示します。
- ⑥ 情報ビュー : 選択中のオブジェクトのプロパティ情報を表示します。








メニューバーの説明

メニュー	メニューリスト	サブメニュー	機能	
ファイル	新規作成		新しいレイアウトを作成します。	
	開く		既存のレイアウトファイルを開きます。	
	テンプレートを開く		テンプレート選択画面を起動します。	
	上書き保存 Ctrl+S		開いているレイアウトファイルを更新します。	
	名前を付けて保存		新しい名前でレイアウトを保存します。	
	レイアウト出力		レイアウトの内容を定義ファイルに出力します。 レイアウト内のテキスト・変数の表示位置やサイズなどの情報が参照出来ます。	
	ページ設定		印刷するプリンタ、用紙サイズなどを設定します。	
	プレビュー	サンプルテキスト		情報ビューのサンプルテキストに入力したデータでプレビューを表示します。
		CSV 差込		CSV ファイルから取り込んだデータでプレビューを表示します。
	印刷	サンプルテキスト		情報ビューのサンプルテキストに入力したデータを印刷します。
CSV 差込			CSV ファイルから取り込んだデータを印刷します。	
	終了		本ツールを終了します。	
編集	元に戻す Ctrl+Z		操作を1つ前の状態に戻します。	
	やり直し Ctrl+Y		操作のやり直しをします。	
	コピー Ctrl+C		選択した項目をコピーします。	
	貼り付け Ctrl+V		クリップボードの内容を貼り付けます。	
	全選択 Ctrl+A		すべての項目を選択します。	
	全選択解除		選択したすべての項目を解除します。	
	削除 Del		選択した項目を削除します。	
	全削除		全ての項目を削除します	
表示	ズーム		指定した倍率で表示します。	
	全表示		全ての項目をオブジェクトビューに表示します。	
	図形表示		図形（水平・垂直線、直線、長方形枠など）の項目一覧をオブジェクトビューに表示します。	
	テキスト表示		テキストの項目一覧をオブジェクトビューに表示します。	
	変数表示		変数の項目一覧をオブジェクトビューに表示します。	
	シンボル表示		シンボル（QRコードなど）の項目一覧をオブジェクトビューに表示します。	

第3章 画面遷移・画面の説明

	非表示データ表示		非表示データの項目一覧をオブジェクトビューに表示します。	
ツール	データ定義		CSV ファイルの入力データを定義します。	
	RFID/QR 設定		RFID、又は QR コードのデータを入力データから設定します。	
	環境設定		本ツールの標準プリンタ、標準用紙を設定します。	
図形	最前面に移動		選択項目を最前面に移動します。	
	最背面に移動		選択項目を最背面に移動します。	
	整列	左揃え		選択項目の左を基準に揃えます。
		右揃え		選択項目の右を基準に揃えます。
		上揃え		選択項目の上を基準に揃えます。
		下揃え		選択項目の下を基準に揃えます。
		左から整列		選択項目を左から順に並べます。
		上から整列		選択項目を上から順に並べます。
		左右に整列		選択項目を左右等間隔に並べます。
		上下に整列		選択項目を上下等間隔に並べます。
		高さを揃える		選択項目の枠の高さを揃えます。 (高いオブジェクトを基準)
		幅を揃える		選択項目の枠の幅を揃えます。 (広いオブジェクトを基準)








ツールバーの説明

アイコン	コマンド名	機能
	保存	作成中のレイアウトを保存します。
	ページ設定	プリンタの印刷情報を設定します。
	印刷	レイアウトを印刷します。
	プレビュー	出力イメージを表示します。
	データ定義	CSV ファイル、データを設定します。 項目毎の列 No. に CSV ファイル内の定義に該当する 1~99 の数値を設定し、CSV ファイルに定義しているデータを表示します。
	RFID/ QR 定義	RFID、QR コードに出力する情報を設定します。
	レイアウト出力	レイアウト情報をレイアウト定義ファイル (dml) に出力します。 帳票発行ツールで印刷する場合は、このファイルを帳票発行ツールで設定されたレイアウト定義フォルダにコピーして下さい。

サイドボタンの説明

アイコン	コマンド名	機能
 オブジェクトの選択	オブジェクトの選択	配置済みのオブジェクトが選択可能な状態にします。
 水平・垂直線	水平・垂直線	水平、又は垂直な直線を描画します。
 直線	直線	斜線を描画します。
 四角形	四角形	四角形枠を描画します。
 テキスト	テキスト	テキスト入力枠を描画します。
 変数	変数	変数入力枠を描画します。
 バーコード	バーコード	バーコード表示枠を描画します。
 QRコード	QRコード	QRコード表示枠を描画します。
 画像	画像	画像挿入枠を描画します。
 部分消去	部分消去	部分消去表示枠を描画します。
 表	表	表を挿入します。
 ページ番号	ページ番号	ページ番号、全ページ数を挿入します。
 非表示データ	非表示データ	非表示データを挿入します。
 元に戻す	元に戻す	操作を1つ戻します。
 やり直し	やり直し	操作をやり直します。

オブジェクトビューの説明

アイコン	コマンド名	機能
	全表示	全ての項目名称／種類／データ内容を一覧表示します。
	図形	図形（水平・垂直線、直線、四角形枠、部分消去）の項目名称／種類／データ内容を一覧で表示します。
	テキスト	テキストの項目名称／種類／データ内容を一覧で表示します。
	変数	変数の項目名称／種類／データ内容を一覧で表示します。
	シンボル	シンボル（バーコード、QRコード）の項目名称／種類／データ内容を一覧で表示します。
	非表示データ	非表示データの項目名称／種類／データ内容を一覧で表示します。
	削除	項目一覧に表示中の項目から選択されている項目を削除します。

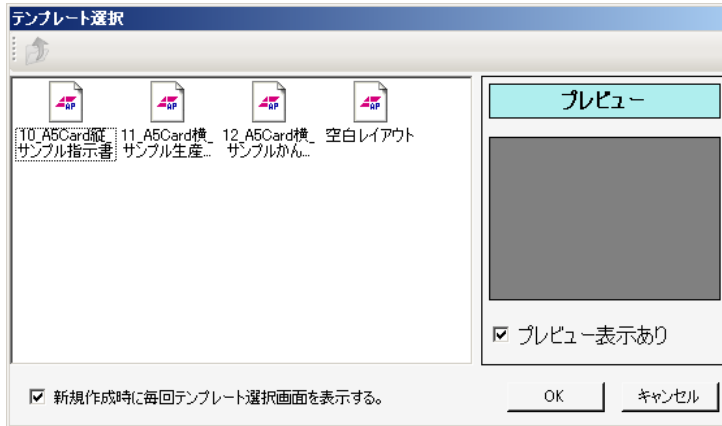
情報ビューの説明

情報	オブジェクト	機能
データ情報	全オブジェクト	項目名称を設定します。 固定テキストを設定します。（テキストのみ） サンプルテキストを設定します。（変数、バーコード、QRコード）
位置情報	全オブジェクト	項目の座標、高さ、幅を設定します。
色と線	水平・垂直線 直線	線の色、太さを設定します。
フォント情報	テキスト 変数 表	フォントスタイル、色、横位置、反転色を設定します。
書式	変数 非表示データ ページ番号	文字列か、数値を設定します。（変数、非表示データ） 桁数、表示形式を設定します。（ページ番号）
バーコード情報	バーコード	チェックディジット自動計算、バーコード種類を設定します。
QRコード情報	QRコード	QRコードの種類を設定します。
画像情報	画像	画像ファイルを設定します。
表情報	表	ヘッダー行表示、行高さ、行数、列情報、枠線を設定します。
印刷情報	全オブジェクト	印刷有無を設定します。

2.2 テンプレート選択画面

新規で帳票レイアウトを作成する際、雛形となる帳票を選択する為の画面です。ユーザー自身が作成したテンプレートを追加することも可能です。

【テンプレート選択画面】

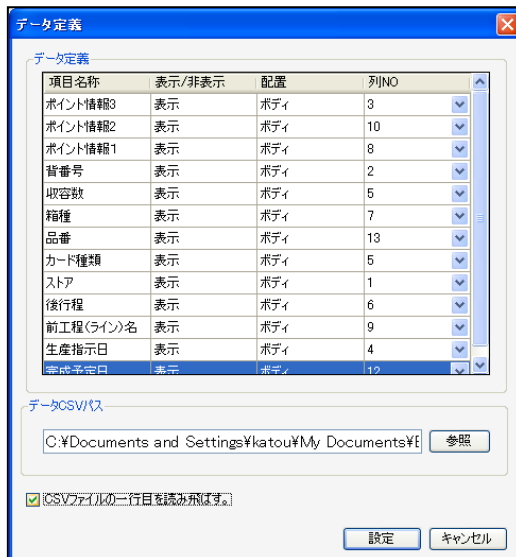


2.3 データ定義画面

オブジェクトに対して、CSV ファイルの列番号を割り当てる為の画面です。割り当て可能なオブジェクトは以下のとおりです。

- ・ 変数
- ・ バーコード
- ・ 表 (列数分、割り当て可能)
- ・ 非表示データ

【データ定義画面】



2.4 RFID/QR 定義画面

RFIDやQRコードに設定するデータを定義する為の画面です。
データ定義画面で設定された項目からRFID、QRコードの内容を定義します。

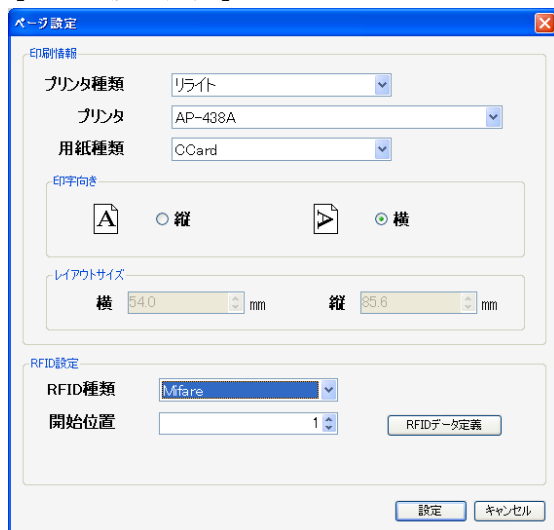
【RFID/QR 定義画面】



2.5 ページ設定画面

ページ設定では、出力先プリンタや用紙の種類、RFIDの種類を選択肢の中から指定します。ただし、プリンタでRFID書き込み機能が搭載されていないプリンタを選択した場合は、RFIDの設定は表示されません。

【ページ設定画面】



2.6 プレビュー画面

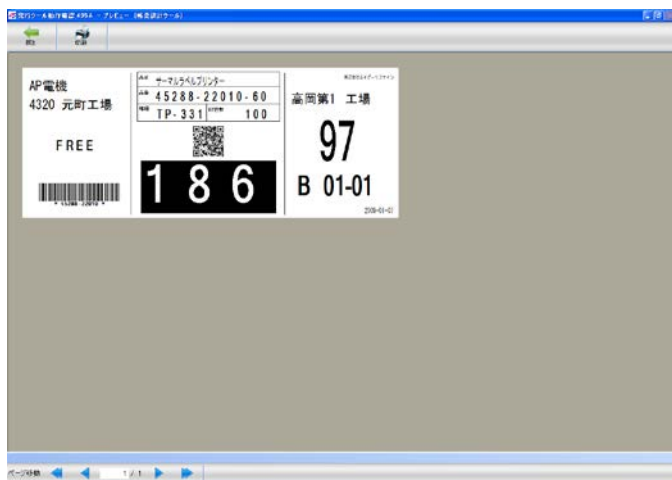
プレビューは、作成したレイアウトの印刷出力情報を確認する為の機能です。

サンプルテキスト/CSV 差込の2パターンから表示情報を選択します。レイアウトの表示位置や取り込みデータの表示内容を確認することができます。

①サンプルテキスト：データ情報のサンプルテキストに入力した情報を表示します。

②CSV 差込：CSV ファイルから取り込んだデータを表示します。

【プレビュー画面】



2.7 環境設定画面

新規レイアウト作成時に適用するプリンタ種類、用紙種類などを設定できます。

【環境設定画面】



第4章 オブジェクトの種類と動作

1. オブジェクトの種類

帳票設計ツールで扱うことのできるオブジェクトは、表 4-1 の通りです。それぞれの性質によって6つの種類に分類されます。

【表 4-1】オブジェクトの分類

種類	オブジェクト名	役割	備考
図形 オブジェクト	水平・垂直線	水平線・垂直線を描画します。	
	直線	直線を描画します。斜め線の描画も可能です。	※次のプリンタ種類では使用できません。 AP-4300/AP-430A/AP-430B/ AP-4380/AP-438A/AP-438B/ AP-4390/AP-439A/AP-439B
	四角形	四角形を描画します。	
固定値 オブジェクト	テキスト	固定値としての文字列を描画します。	
イメージ オブジェクト	画像	任意の画像を描画します。	対応フォーマット bmp, jpg, jpeg, gif, png, ico, tif ※次のプリンタ種類では使用できません。 AP-4300/AP-430A/AP-430B/ AP-4380/AP-438A/AP-438B/ AP-4390/AP-439A/AP-439B
変数 オブジェクト	変数	定義された CSV ファイルの値を読み取り、動的に値を出力(表示)します。	
	バーコード	定義された CSV ファイルの値を読み取り、動的にバーコードを出力(表示)します。	作成できるバーコード種類は、「CODE39」
	表	定義された CSV ファイルの値を読み取り、動的に表を出力(表示)します。	列ごとに CSV ファイルの列を定義できます。 帳票 1 ページにつき、表の行数分だけ、CSV ファイルの行を読み取ります。
	非表示データ (変数)	定義された CSV ファイルの値を読み取り、保持します。	画面には表示されません。主に QR コードや RFID のデータソースとして利用します。
その他特殊 オブジェクト	QR コード	定義されたオブジェクトが保持する値を用い、動的に QR コードを出力(表示)します。	エラー訂正レベル、セル幅の変更可能

	RFID	定義されたオブジェクトが保持する値を用いて、プリント対象のRFIDに値を書き込みます。	当社指定のRFIDリライトカードを使用して下さい。
	部分消去	リライトカードを書き換える際、このオブジェクトで囲んだ範囲のみ書き換えを行います。	※次のプリンタ種類では使用できません。 AP-0922/AP-0924/ AP-4331/AP-4334/AP-4339/AP-433B/ AP-433C/AP-4361/AP-436B/AP-436C/ AP-4352D/AP-4352T/AP-4355/AP-435A/ AP-435B/Windows
ページ オブジェクト	ページ番号	現在のページ番号を出力(表示)します。	
	全ページ数	全ページ数を出力(表示)します。	

2. 図形オブジェクトの特徴

図形オブジェクトには、水平・垂直線、直線、四角形があります。これらは配置された通りに、線を描画します。線の太さ、色を変更することができます。

3. 固定値オブジェクト

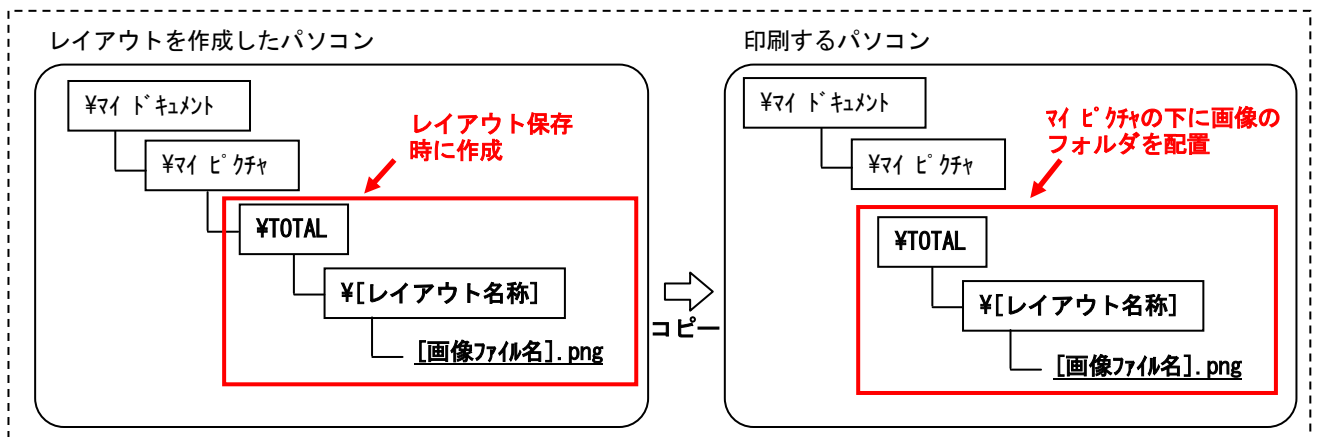
固定値オブジェクトには、テキストがあります。テキストは、固定テキストプロパティに設定されている値を描画します。オブジェクトの枠線は描画しません。

4. イメージオブジェクト

イメージオブジェクトには、画像があります。画像は、画像ファイル名称プロパティに設定されている画像ファイルを描画します。設定可能な画像ファイルフォーマットは、ビットマップ(.bmp)、JPEG(.jpg/.jpeg)、GIF(.gif)、PNG(.png)、アイコン(.ico)、TIFF(.tif)です。GIFおよびPNGの場合は、透過色が有効となります。

イメージオブジェクトが含まれた帳票のレイアウト定義ファイルを作成すると、イメージオブジェクトに設定された画像ファイルから印刷用の画像ファイルとして「マイピクチャ」の下に画像フォルダに作成します。他のパソコンで印刷する場合は、印刷用の画像ファイルを所定のフォルダに配置する必要があります。

【印刷用の画像フォルダ】



5. 変数オブジェクト

変数オブジェクトには、変数、バーコード、表、非表示データがあります。変数オブジェクトは、指定された CSV ファイルの列 No. の値を読み込み、値を動的に出力します。

特別な変数オブジェクトである表オブジェクト

原則として1 オブジェクトに対し割り当てられる CSV の列は1 つですが、表オブジェクトだけは、作成した列数分だけ CSV の列を割り当てることができます。また、表オブジェクトが2 行以上で作成された場合は帳票1 ページに、行数分の CSV データが出力されます。

6. その他特殊なオブジェクト

その他特殊なオブジェクトとして、ページ番号、QR コード、RFID、部分消去があります。ページ番号は、配置された場所に帳票のページ番号、または全体のページ数を描画します。

QR コード、RFID は、配置されている変数オブジェクトにセットされている値を出力することができるオブジェクトです。QR コードは、割り当てられた変数オブジェクトに格納されている値を QR コード形式で出力します。RFID は、同様の値を書き込みます。どちらも複数の変数オブジェクトを、順序を指定して割り当てることが可能です。割り当て方法は、「第5章 4. RFID/QR コードに出力内容を定義する」を参照してください。

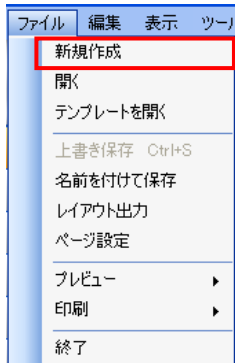
部分消去は、リライトプリンタでの書き換え範囲を定義するオブジェクトです。部分消去オブジェクトがレイアウト上に1 つ以上存在する場合は、部分消去オブジェクトで囲まれた部分だけが書き換えられます。この機能によりリライトカードの書き換え可能期間（寿命）を長く保つことができます。部分消去の詳細な説明は、「第5章 5. 部分消去オブジェクトを活用する」を参照してください。

第5章 操作の説明

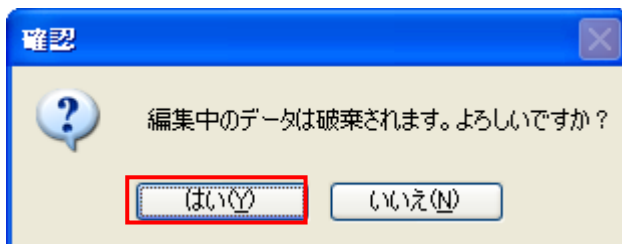
1. 帳票レイアウトを開く

1.1 帳票レイアウトを新規作成する

メニューの[ファイル]-[新規作成]-をクリックします。

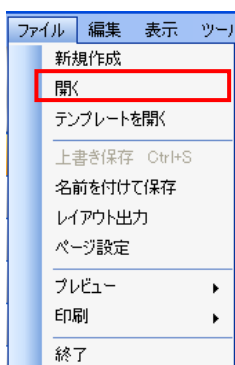


※ 現在開いているレイアウトが編集中の場合、確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックすると空白レイアウトが表示されます。

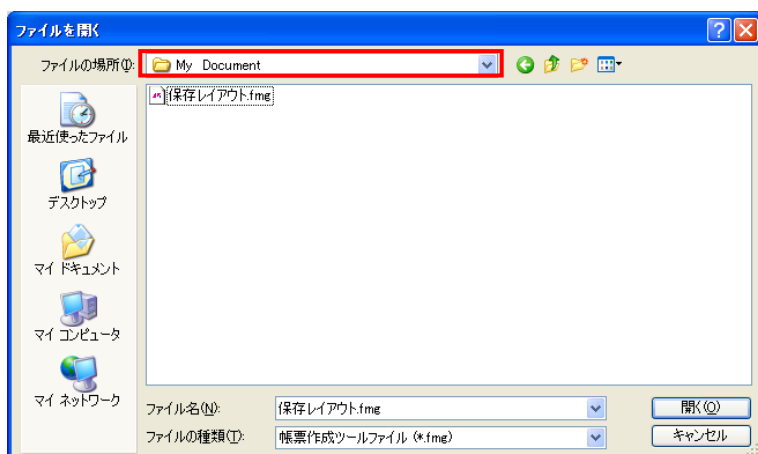


1.2 既存の帳票レイアウトを開く

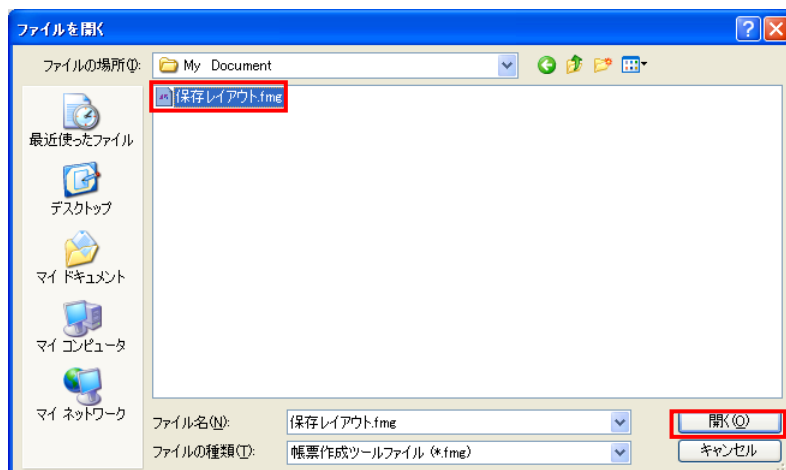
メニューの[ファイル]-[開く]-をクリックします。



[ファイルの場所]で、開くファイルが格納されているドライブ、フォルダをクリックします。

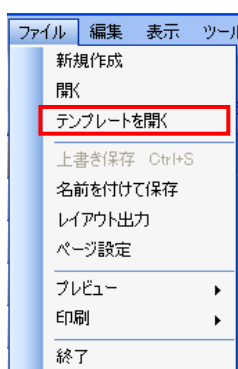


フォルダとファイルの一覧で、目的のファイルが格納されているフォルダを開きます。目的のファイルをクリックし、[開く]をクリックします。

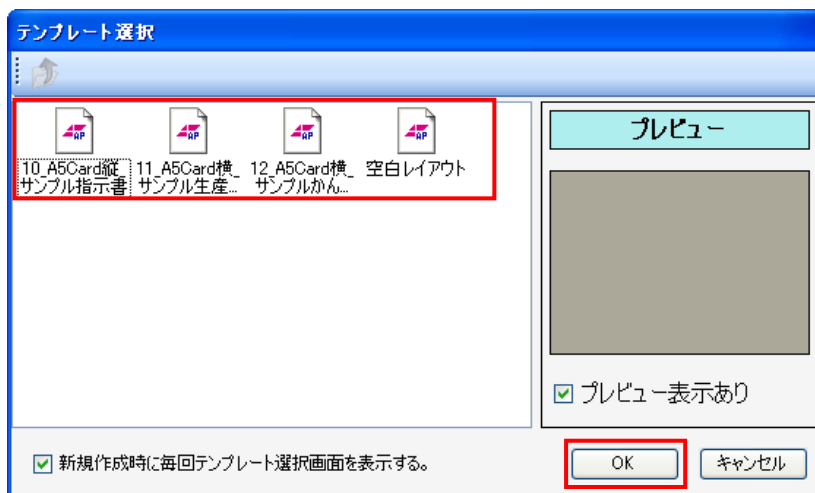


1.3 テンプレートの帳票レイアウトを開く

メニューの[ファイル]-[テンプレートを開く]をクリックします。



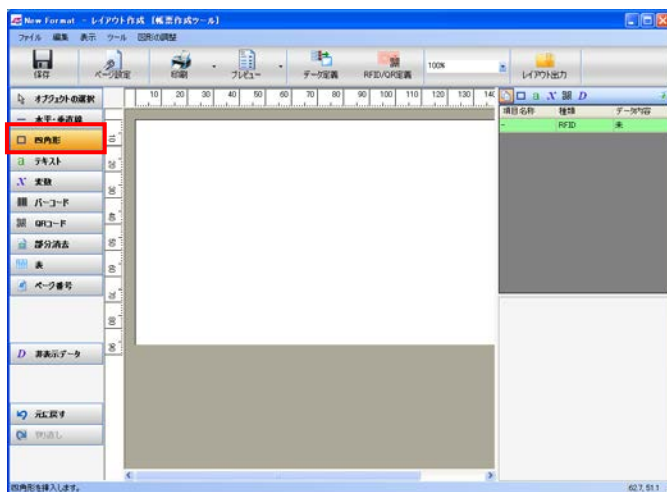
目的のテンプレートをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



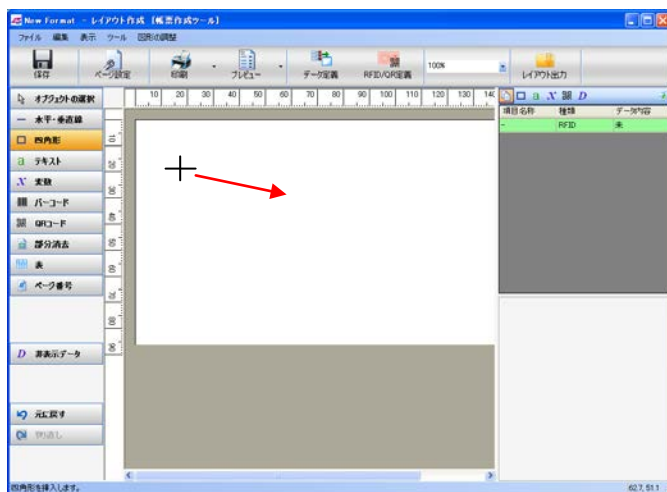
2. オブジェクトを配置して帳票レイアウトを作成する

2.1 オブジェクトを配置する

サイドボタンから配置するオブジェクトをクリックします。

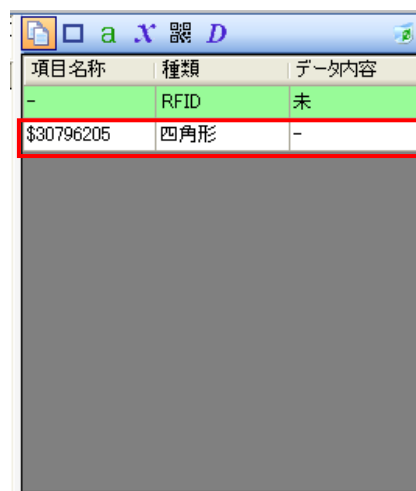
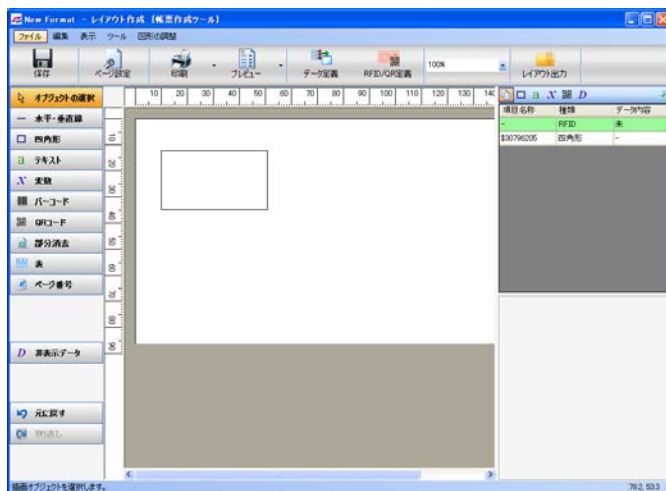


配置する場所にカーソルを合わせます。



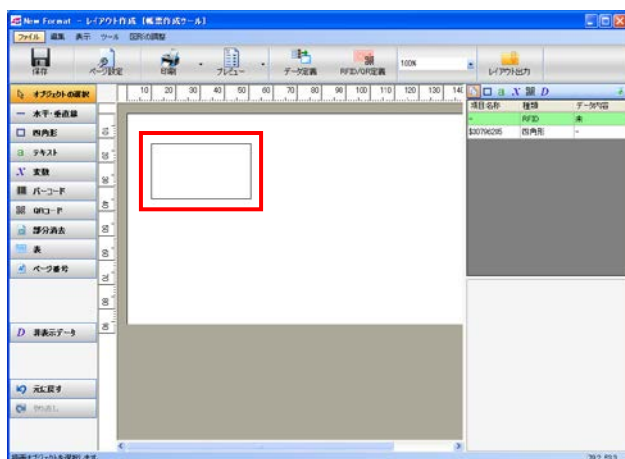
任意の大きさになるまでドラッグし、マウスボタンを放すと描画されます。

2.2 配置済みオブジェクトを選択する オブジェクトビューから選択する場合



オブジェクトビューより選択するオブジェクトをクリックします。

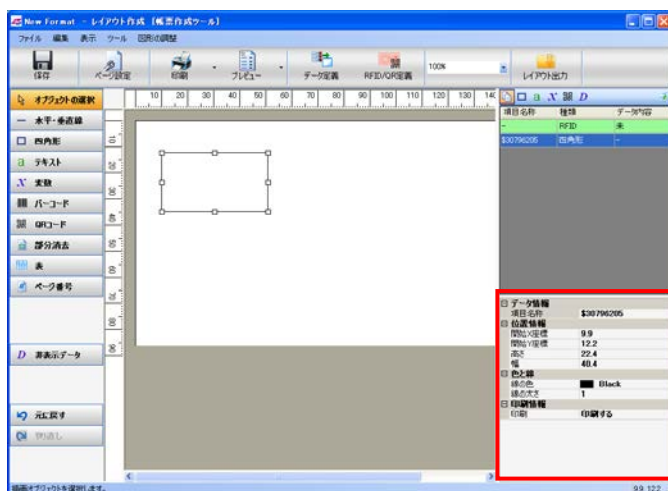
レイアウトビューから選択する場合



レイアウトビューより描画されたオブジェクトをクリックします。

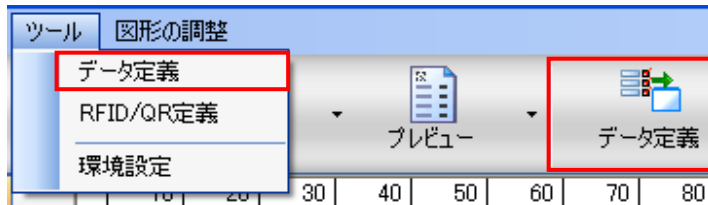
2.3 配置済みオブジェクトのプロパティを変更する

プロパティを変更するオブジェクトをクリックし、情報ビューを表示します。

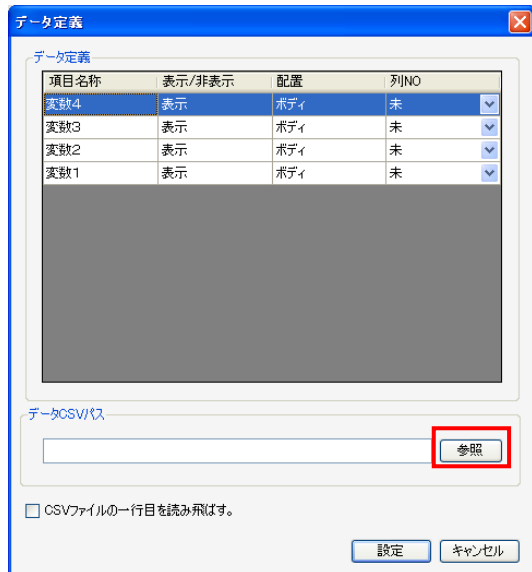


3. 変数オブジェクトに出力内容を定義する

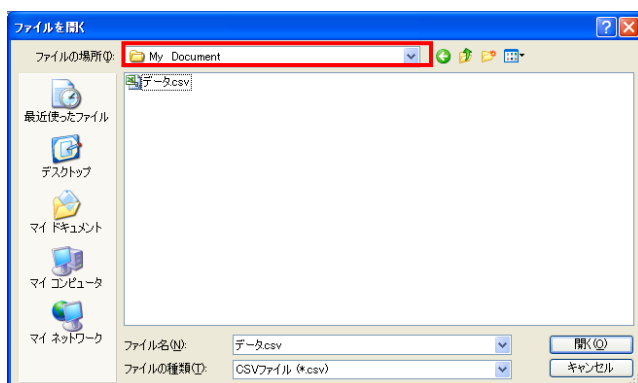
ツールの[データ定義]または、メニューの[ツール]-[データ定義]をクリックします。



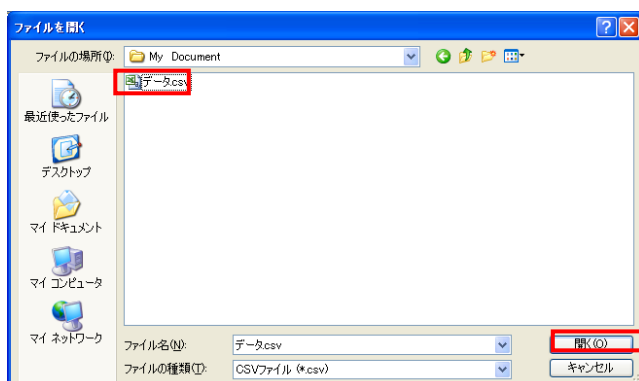
[参照]ボタンをクリックします。



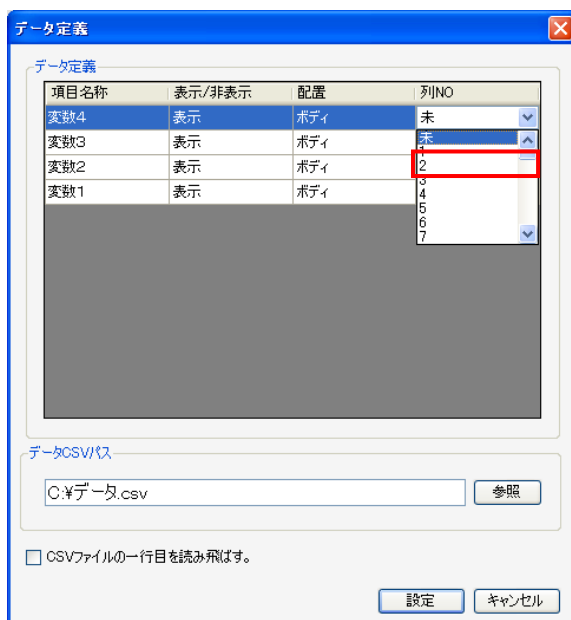
[ファイルの場所] で、開くファイルが格納されているドライブ、フォルダをクリックします。



目的のファイルをクリックし、[開く] をクリックします。



データ定義を行う項目の列No をクリックします。
 選択欄から番号をクリックします。



CSV ファイルの 1 行目が項目名の場合は[CSV ファイルの一行目を読み飛ばす]のチェックボックスをクリックします。

CSVファイルの一行目を読み飛ばす。

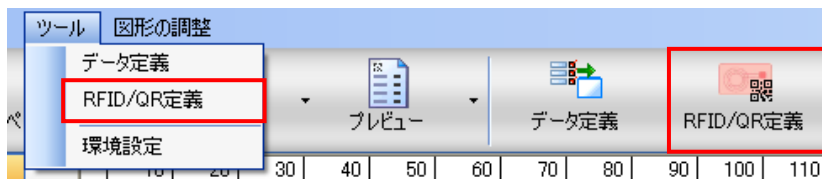
4. RFID/QR コードに出力内容を定義する

4.1 定義画面の表示

項目ビューから定義する RFID または QR コードをクリックします。

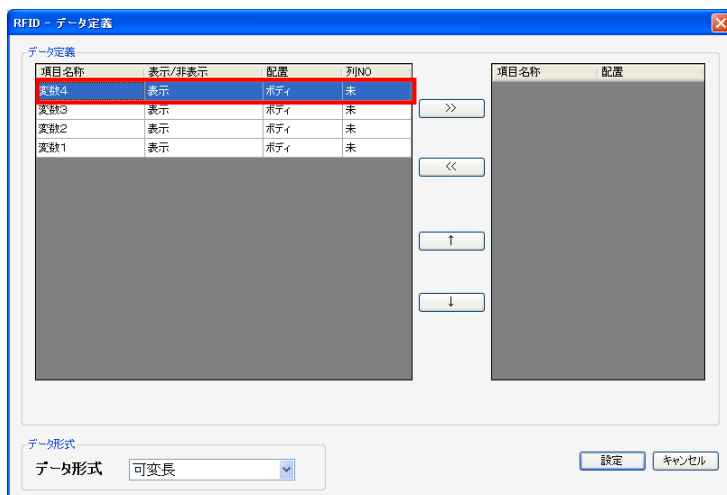
項目名称	種類	データ内容
-	RFID	未
変数1	変数	未
変数2	変数	未
変数3	変数	未
変数4	変数	未

ツールの [RFID/QR 定義] または、メニューの [ツール]-[RFID/QR 定義] をクリックします。

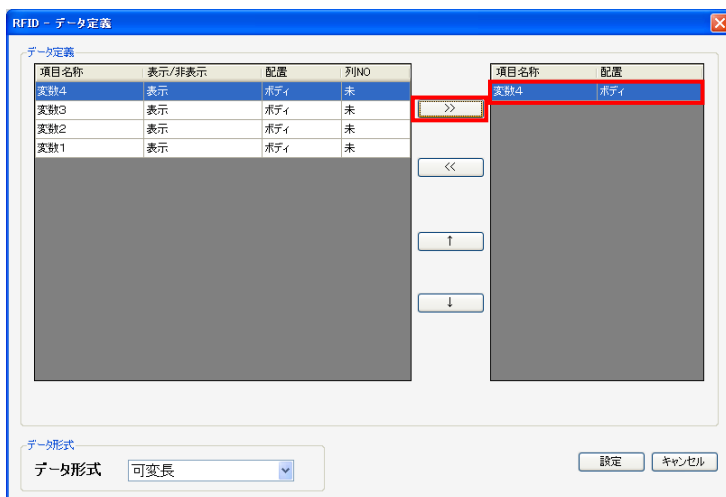


4.2 データ項目の追加

左の項目一覧から追加する項目をクリックします。

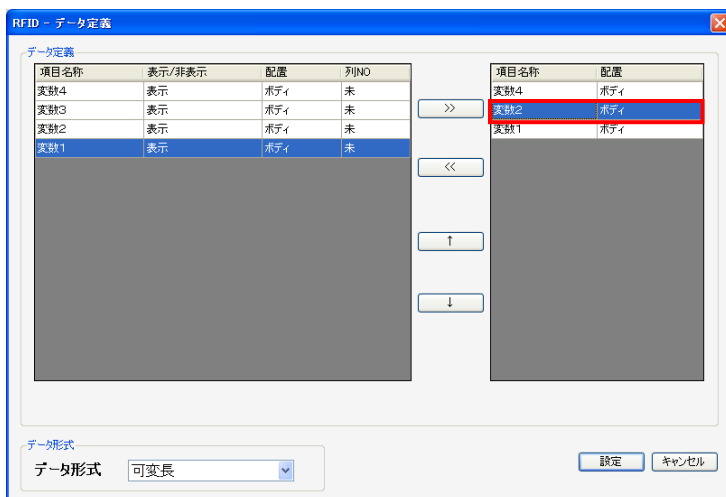


[>>]をクリックすると、右の一覧に選択した項目を追加します。

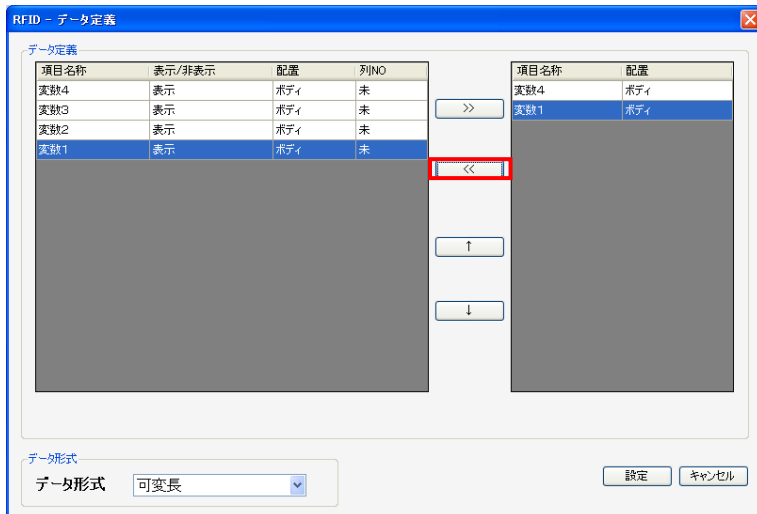


4.3 データ項目の削除

右の一覧から削除したい選択項目をクリックします。

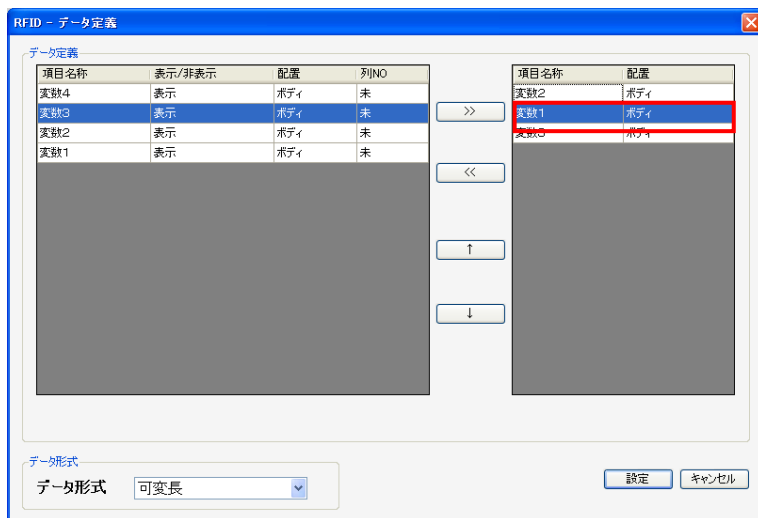


[<<]ボタンをクリックすると一覧で選択した項目を削除します。



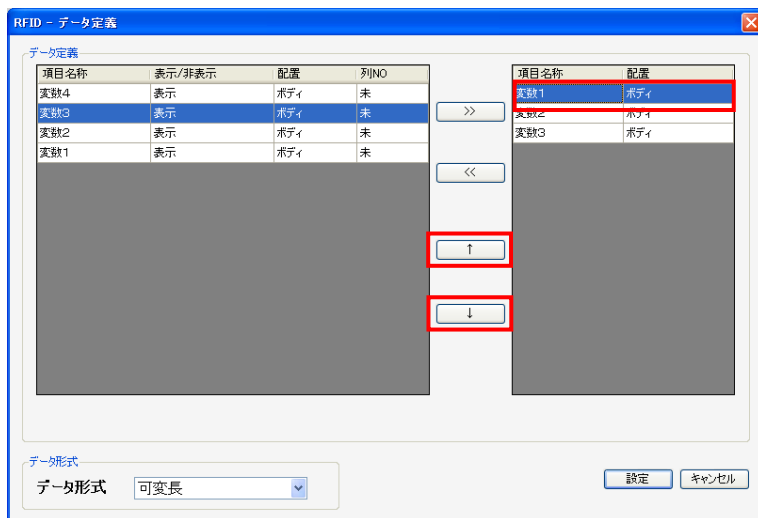
4.4 データ項目並び替え

移動したい選択項目をクリックします。



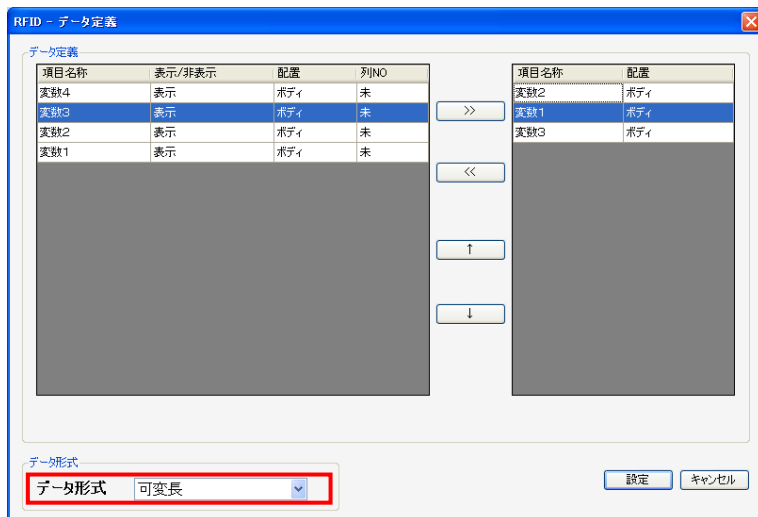
[↑]ボタンをクリックすると一つ前に移動します。

[↓]ボタンをクリックすると一つ後ろに移動します。

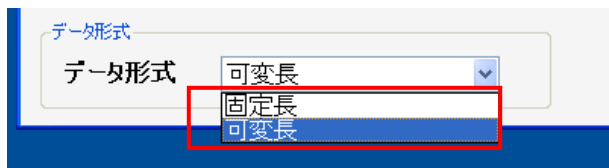


4.5 データ形式の変更

データ形式のプルダウンボタンをクリックします。



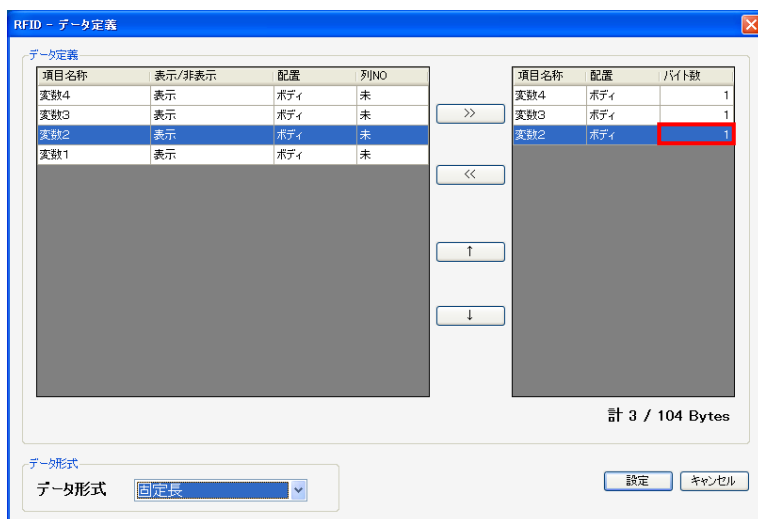
一覧から可変長または、固定長をクリックします。



4.6 バイト数の変更

この操作はデータ形式が[固定長]の場合のみ操作可能です。

バイト数を変更したい選択項目のバイト数をクリックします。



値を入力します。

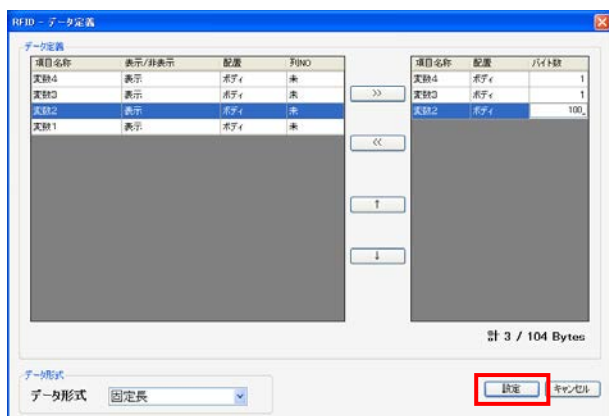
※ 選択項目の総バイト数が RFID の最大バイト数を越える設定はできません。

※ RFID の種類によって登録できる最大バイト数は異なります。

項目名称	配置	バイト数
変数4	ボディ	1
変数3	ボディ	1
変数2	ボディ	100

4.7 設定情報の更新

[設定]ボタンをクリックすると変更情報が更新されます。



5. 部分消去オブジェクトを活用する

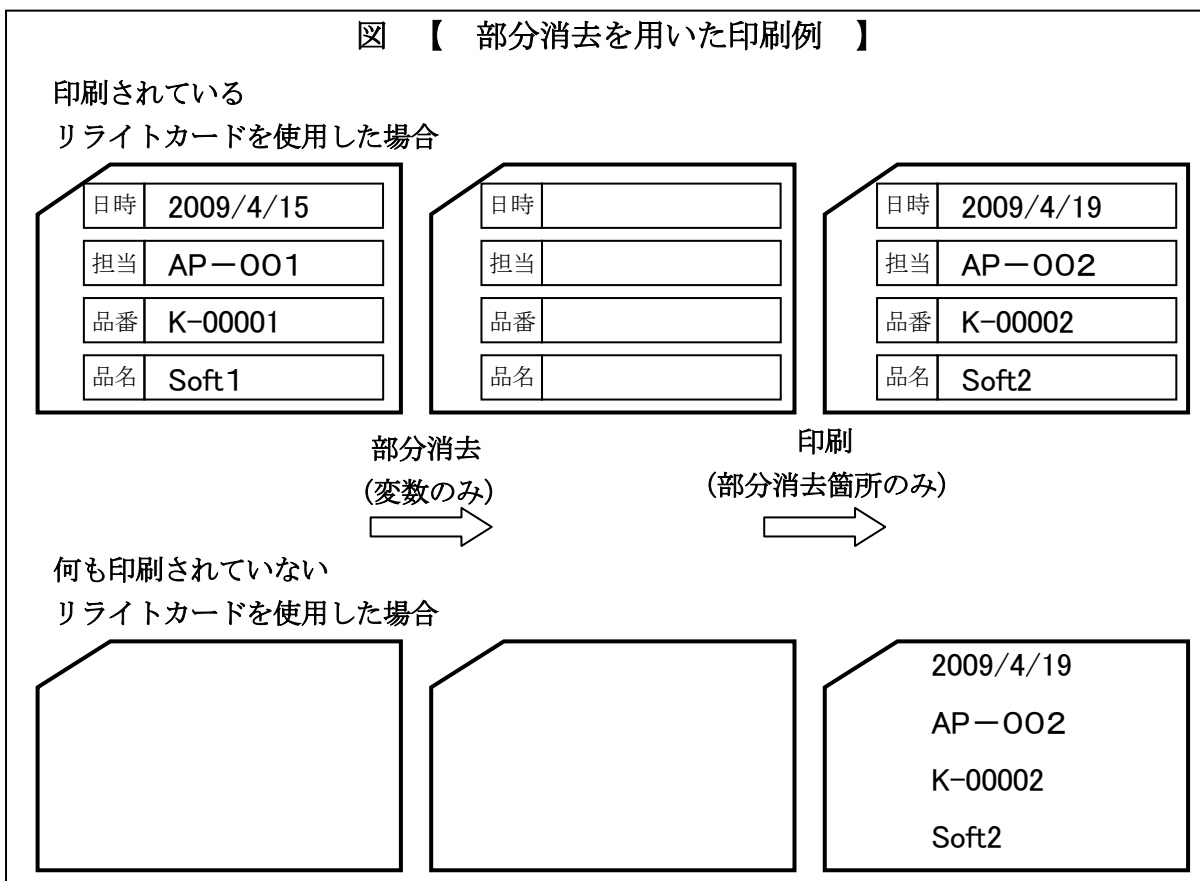
部分消去の活用方法を基本的な使用例で説明します。

日時	日時データ (変数)
担当者	担当者データ (変数)
品番	品番データ (変数)
品名	品名データ (変数)

上記の例では項目ごとに枠で囲み、左側の枠に固定値のタイトル、右側の枠に変数を表示するようにレイアウトを作成しています。部分消去は変数部分のみに適用するように描画しています。

実際にこのレイアウトを用いて印刷すると、部分消去を行う部分(変数)のみが書き換えられて、それ以外の部分は書き換え対象外で印刷しません。(下図参照)

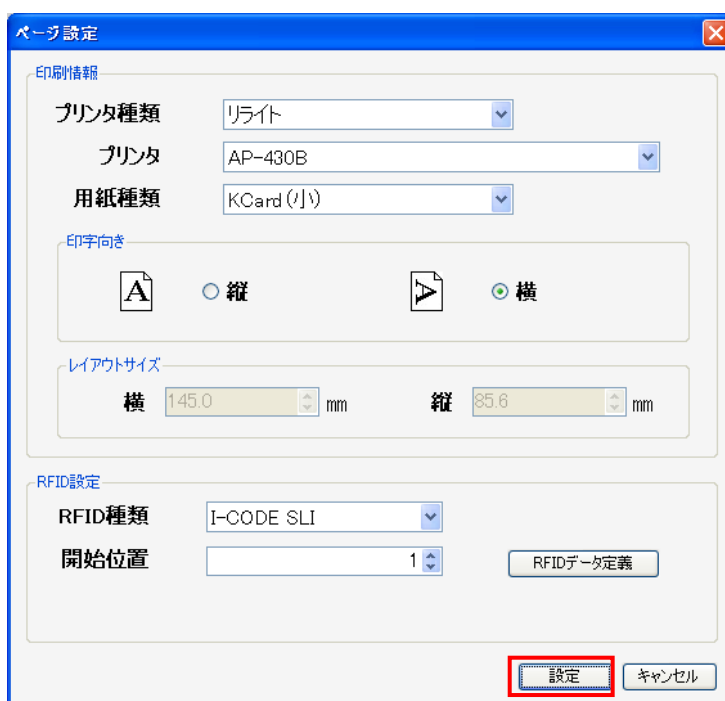
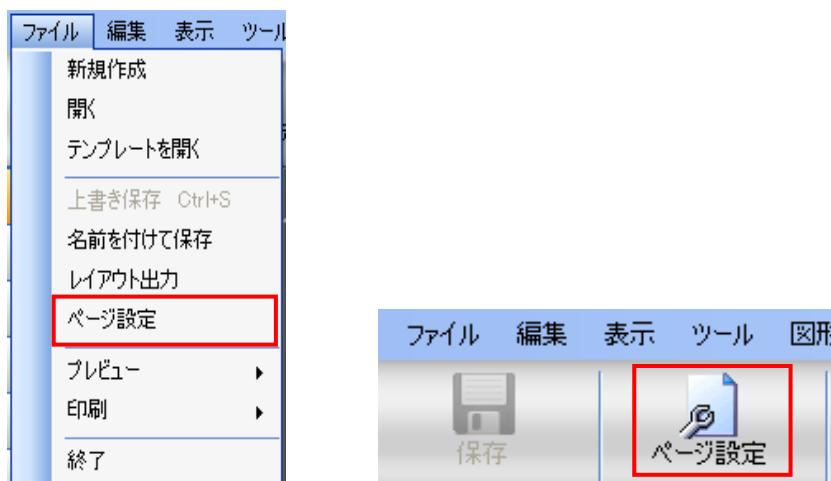
図 【 部分消去を用いた印刷例 】



6. 帳票を印刷する

6.1 ページ設定を行う

ツールの[ページ設定]または、メニューの[ファイル]-[ページ設定]をクリックしてページ設定画面を開きます。

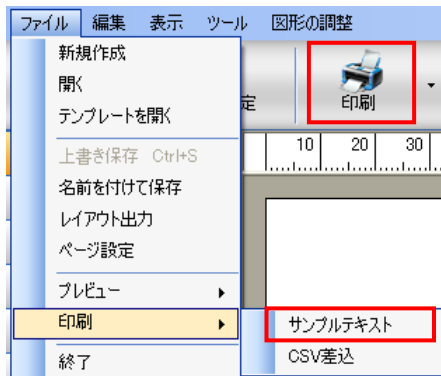


印刷情報、RFID 設定を行い、[設定]ボタンをクリックします。

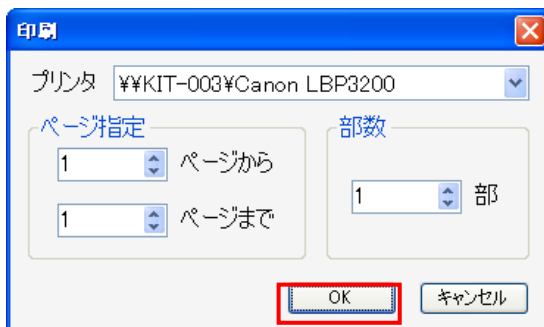
- ※ 標準版で使用できるプリンタは Windows のみです。
 - ※ RFID 設定は RFID 書込み可能なプリンタを選んだ場合のみ設定可能です。
 - ※ [RFID 定義]ボタンをクリックすると、RFID/QR コード定義画面を表示します。
- 操作方法については「4. RFID/QR コードに出力内容を定義する」を参照してください。

6.2 サンプルテキスト印刷

ツールバーの[印刷]または、メニューの[ファイル]-[印刷]-[サンプルテキスト]をクリックします。



[ページ指定]、[部数]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

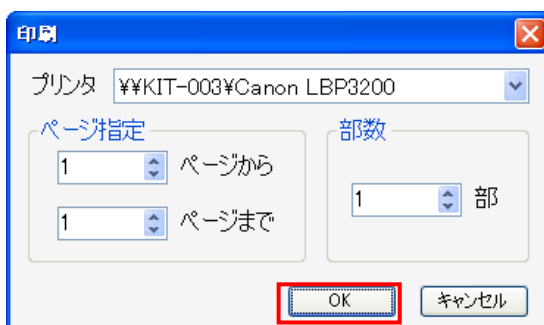


6.3 CSV 差込印刷

ツールバーの[印刷]または、メニューの[ファイル]-[印刷]-[CSV 差込]をクリックします。



[ページ指定]、[部数]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

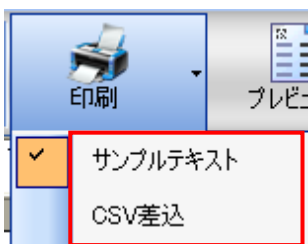


6.4 印刷のデフォルト設定

ツールバーの[印刷]-[▼]をクリックします。



[サンプルテキスト]または、[CSV 差込]をクリックします。

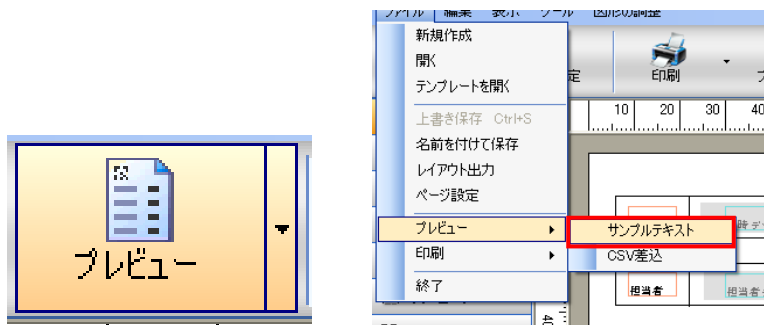


6.5 サンプルテキストプレビュー

サンプルテキストプレビューは、配置した変数オブジェクトにプロパティで入力したサンプルテキストを代入して表示します。

メニューの[ファイル]-[プレビュー]-[サンプルテキスト]または、ツールの[プレビュー]をクリックします。

※ツールの[プレビュー]は事前にプレビューのデフォルト設定をする必要があります。操作方法については、「6.7 プレビューのデフォルト設定」を参照してください。



プレビュー画面が表示されます。



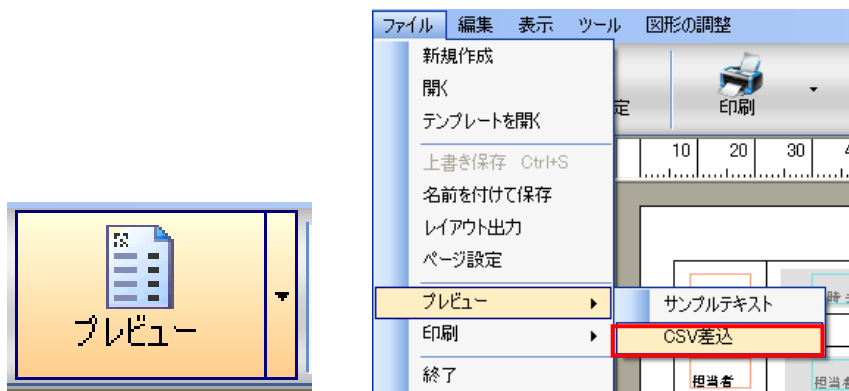
ツールバーの[戻る]をクリックすると元の画面に戻ります。

ツールバーの[印刷] をクリックすると印刷を行いません。

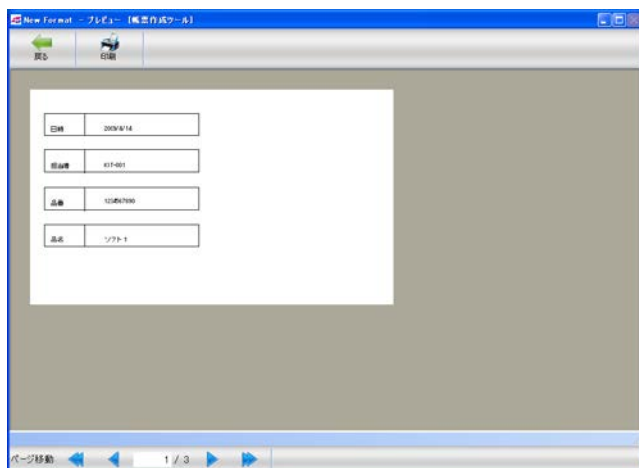
6.6 CSV 差込印刷プレビュー

CSV 差込印刷プレビューは、配置した変数オブジェクトにデータ定義で設定した CSV ファイルのデータを代入して実際の印刷内容の状態を表示します。

メニューの[ファイル]-[プレビュー]-[CSV 差込]または、ツールバーの[プレビュー]をクリックします。

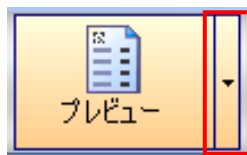


プレビュー画面が表示されます。

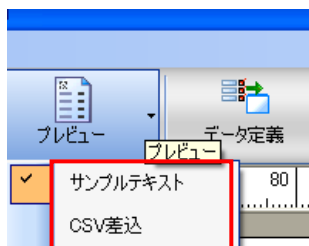


6.7 プレビューのデフォルト設定

ツールバーの[プレビュー]-[▼]をクリックします。

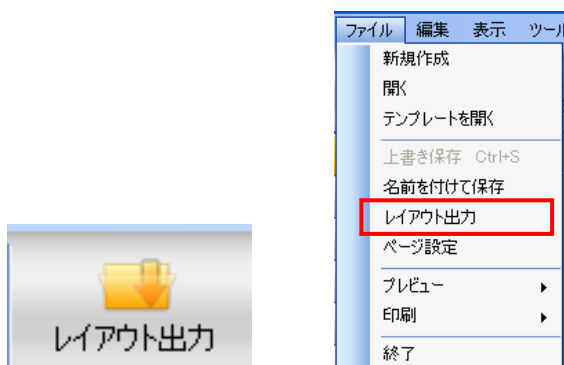


[サンプルテキスト]または、[CSV 差込]をクリックします。

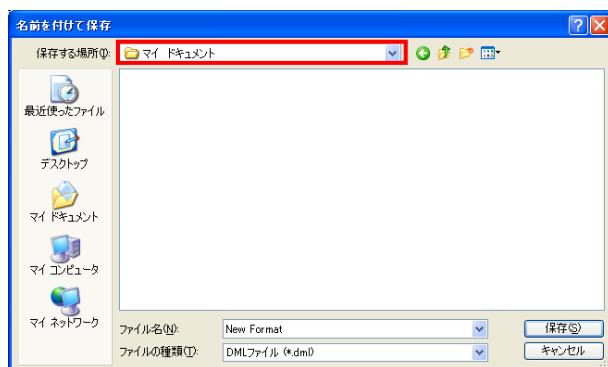


7. レイアウト定義ファイルを出力する

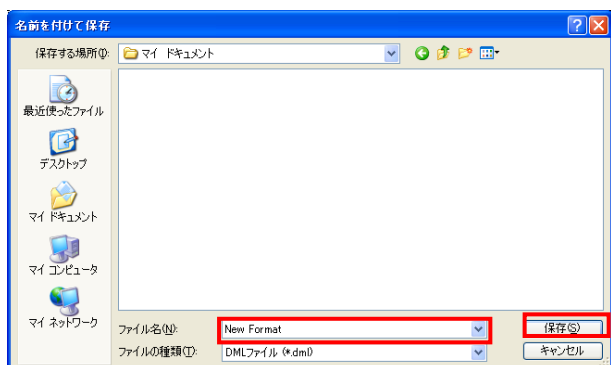
ツールバーの[レイアウト出力]または、メニューの[ファイル]-[レイアウト出力]をクリックします。



[保存する場所] で、ファイルを格納するドライブ、フォルダをクリックします。



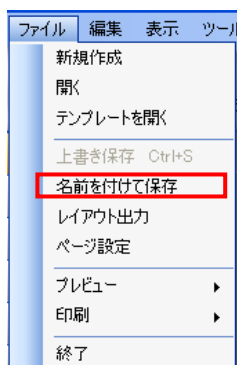
フォルダとファイルの一覧で、目的のフォルダを開きます。
ファイル名を入力し、[保存] をクリックします。



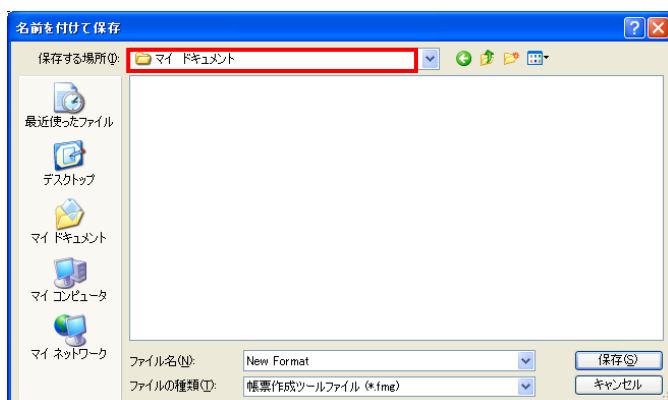
8. 帳票レイアウトを保存する

8.1 名前を付けて保存

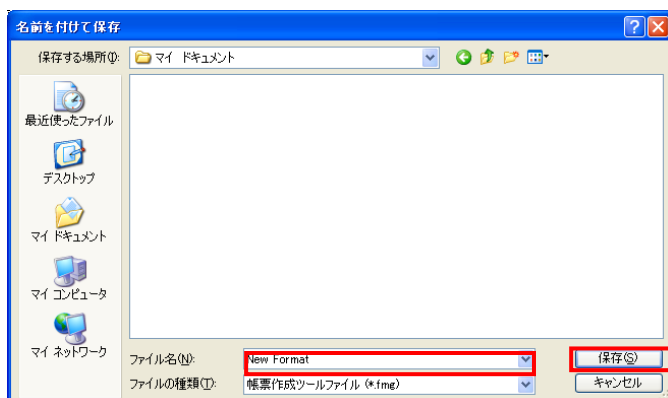
メニューの[ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックします。



[保存する場所] で、ファイルを格納するドライブ、フォルダをクリックします。

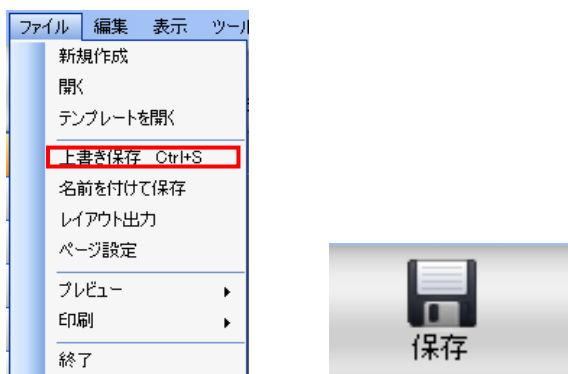


フォルダとファイルの一覧で、目的のフォルダを開きます。
ファイル名を入力し、[保存] をクリックします。



8.2 上書き保存

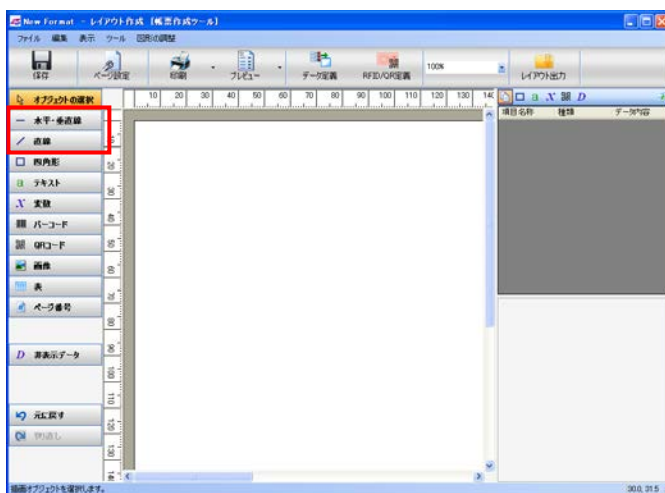
メニューの[ファイル]-[上書き保存]または、ツールバーの[保存]をクリックします。



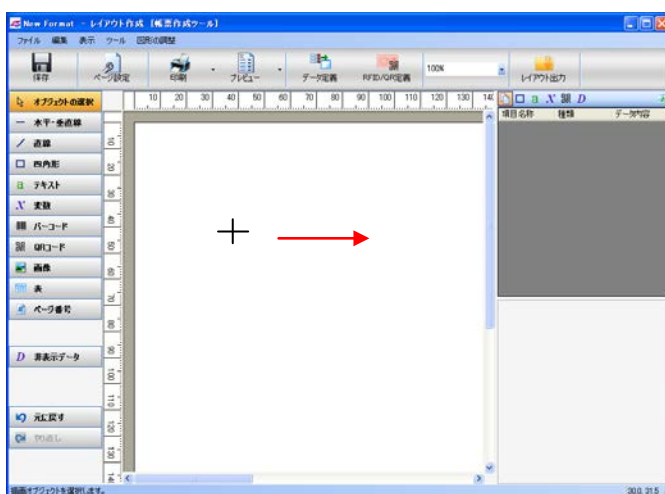
現在のレイアウト情報を保存します。

8.3 線を描画するには

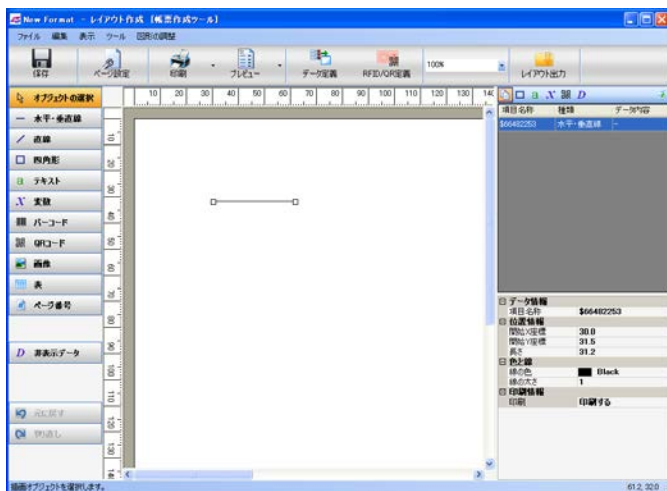
サイドボタンの[水平・垂直線]、または[直線]をクリックします。



線の起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。



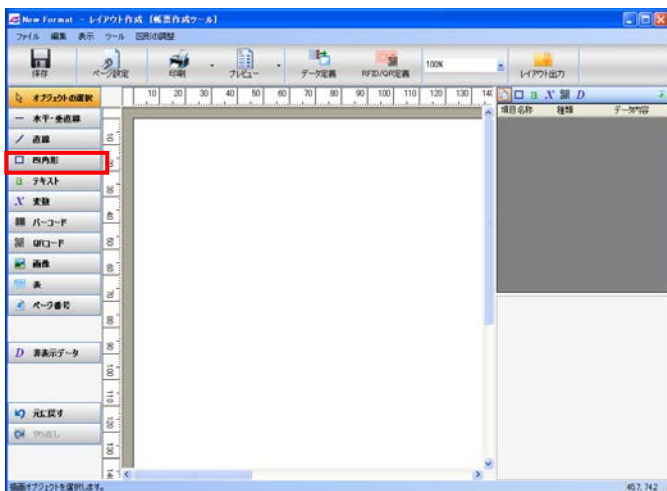
線の終点でマウスの左ボタンを離すと線を描画します。



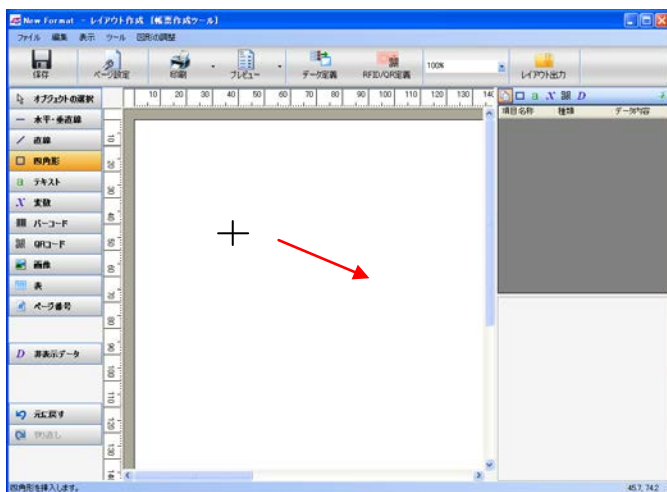
※ 直線は、プリンタ種類によって選択できません。
 詳細は「第4章 1. オブジェクトの種類」を参照してください。

8.4 四角形を描画するには

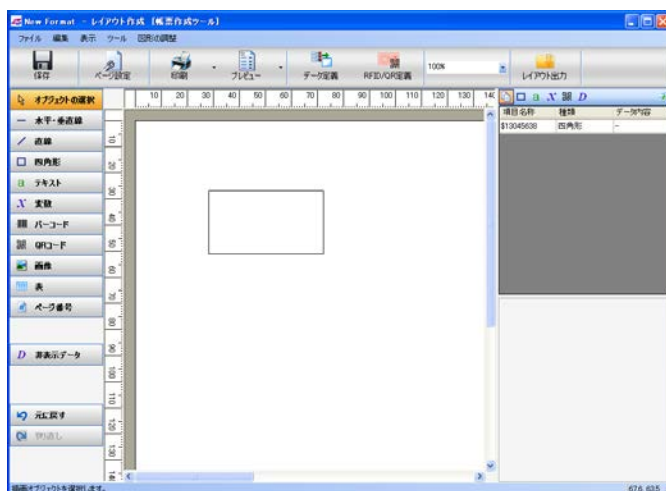
サイドボタンの[四角形]をクリックします。



枠の起点で左クリックし、終点までマウスをドラッグします。



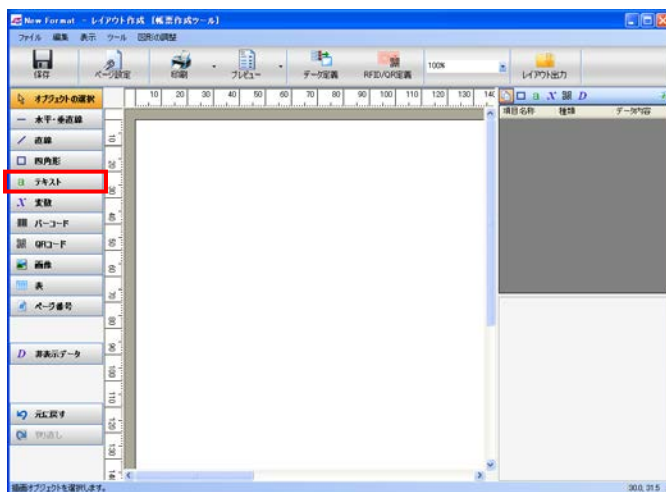
終点でマウスの左ボタンを離すと四角形を描画します。



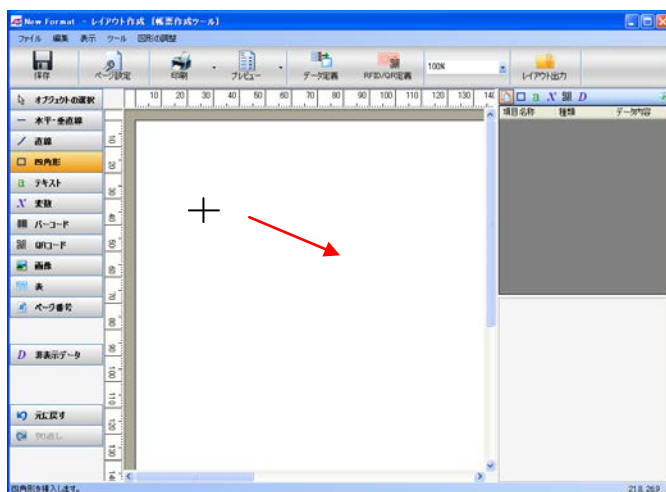
※枠の起点から左へドラッグすることはできません。

8.5 文字を入力するには

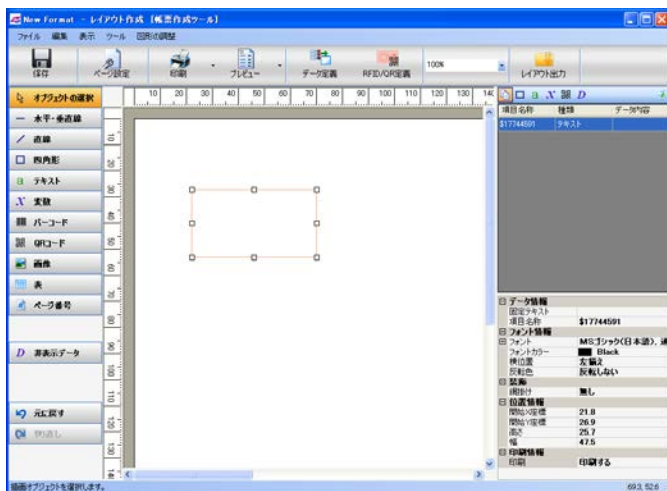
サイドボタンの[テキスト]をクリックします。



起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。



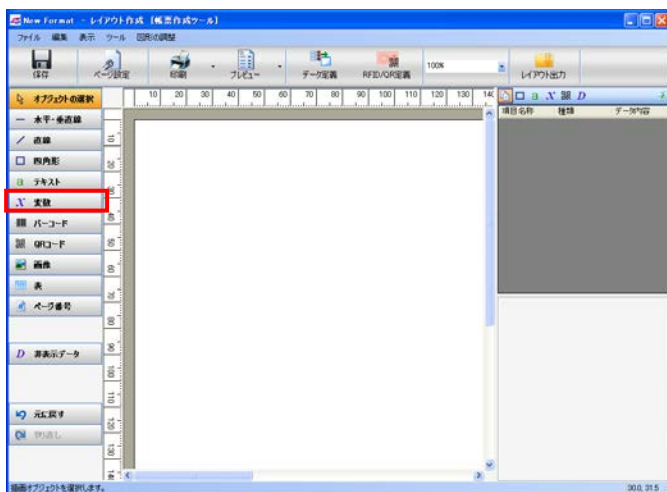
終点でマウスの左ボタンを離すとテキスト枠を描画します。



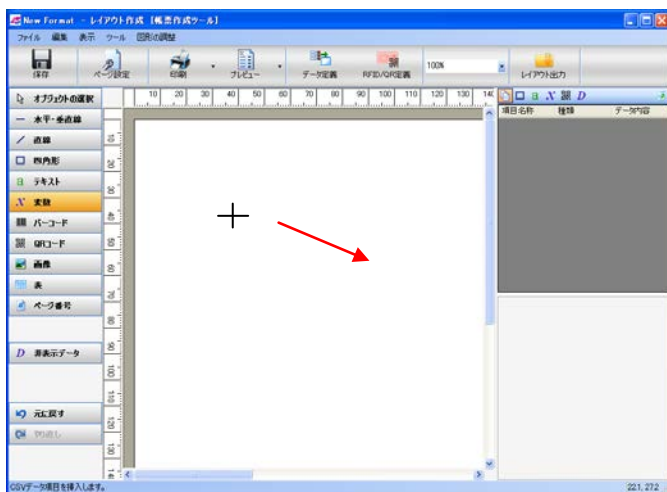
文字入力は情報ビューより入力します。

8.6 データを入力するには

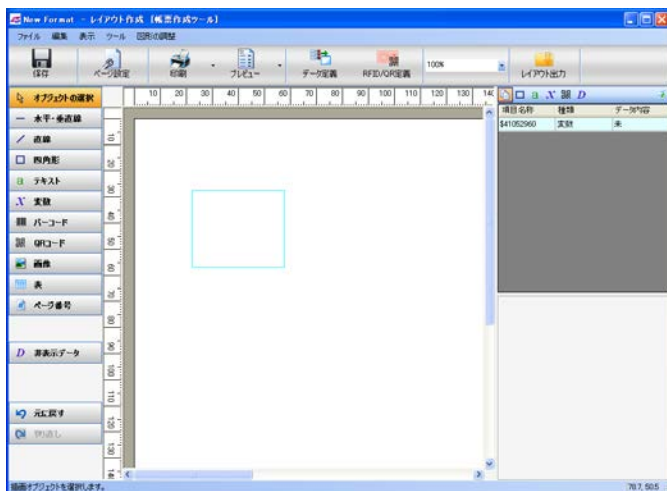
サイドボタンの[変数]ボタンをクリックします。



起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。

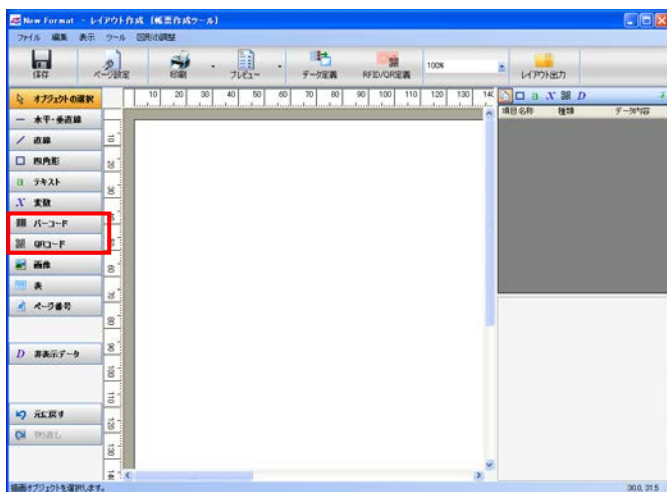


終点でマウスの左ボタンを離すと変数枠を描画します。

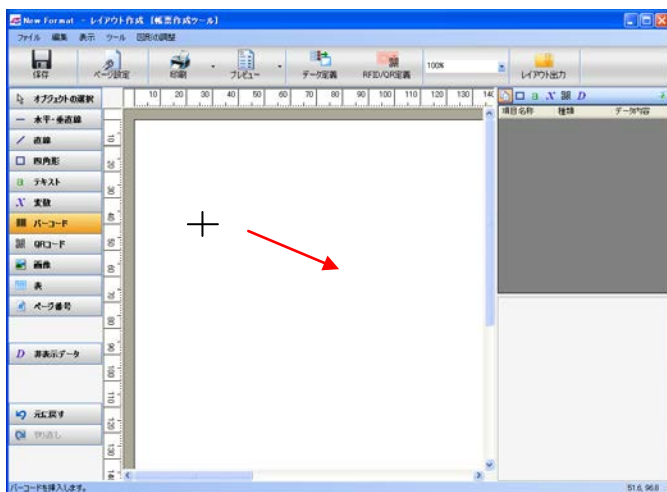


変数に表示するデータの定義はデータ定義から行います。

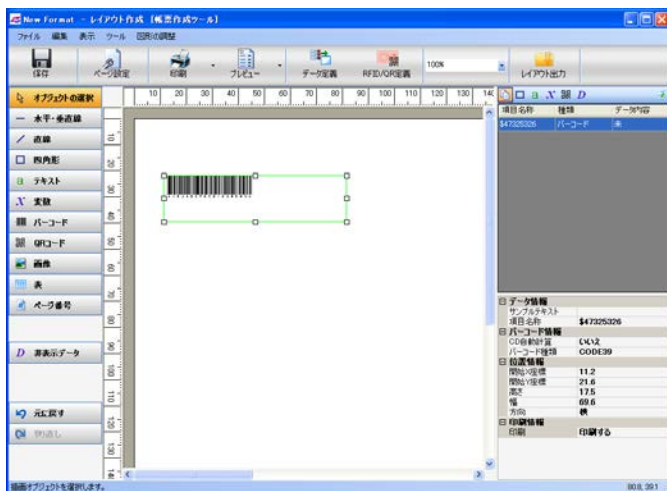
- 8.7 バーコード・2次元コード(QRコード)を入力するには
 サイドボタンの[バーコード]または、[QRコード]をクリックします。



起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。



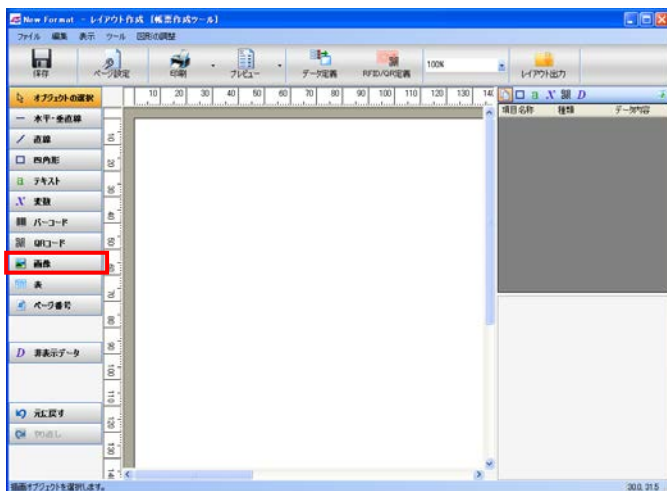
終点でマウスの左ボタンを離すと枠を描画します。



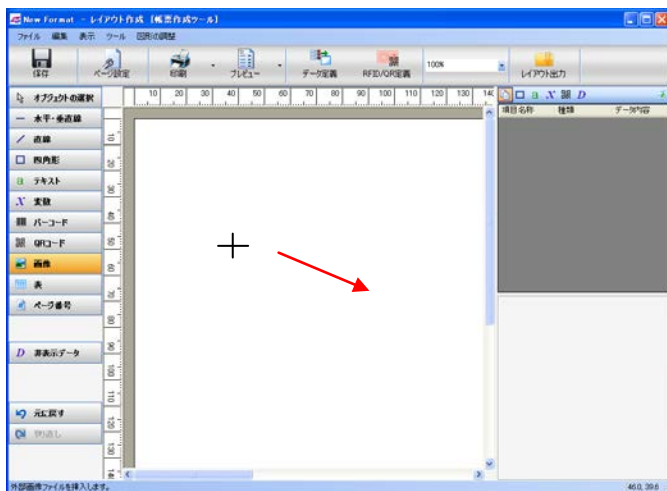
QR コードに表示するデータの定義は、RFID/QR 定義から行います。
バーコードに表示するデータの定義は、データ定義から行います。

8.8 画像を挿入するには

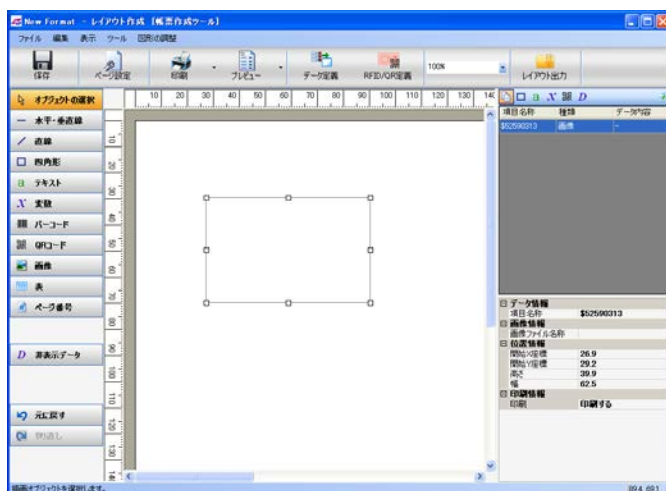
サイドボタンの[画像]をクリックします。



起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。



終点でマウスの左ボタンを離すと枠を描画します。



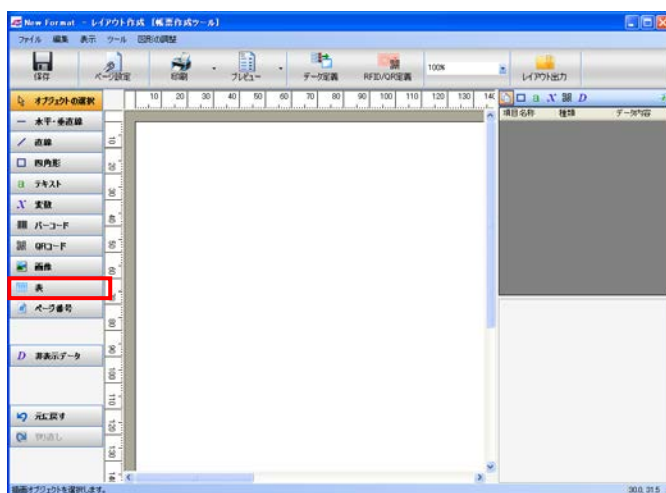
画像のファイル選択は情報ビューより設定します。

※ 画像は、プリンタ種類によって選択できません。

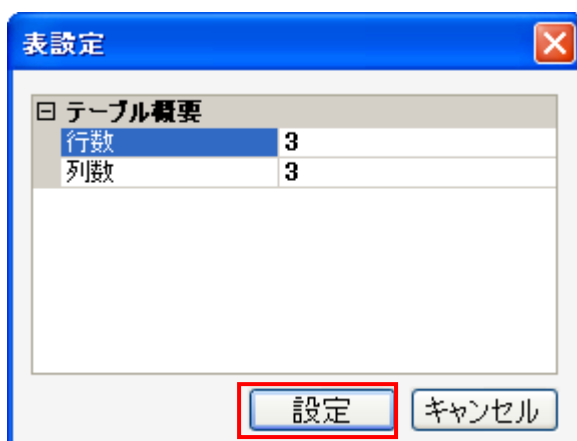
詳細は「第4章 1. オブジェクトの種類」を参照してください。

8.9 表を挿入するには

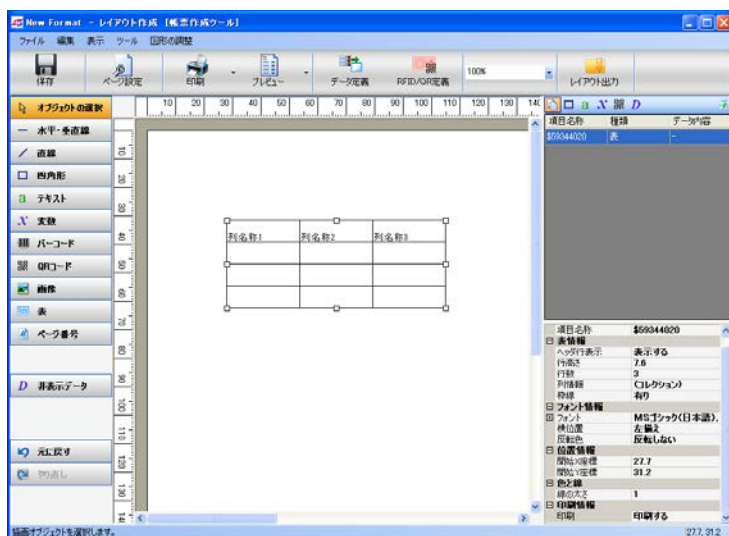
サイドボタンの[表]をクリックします。



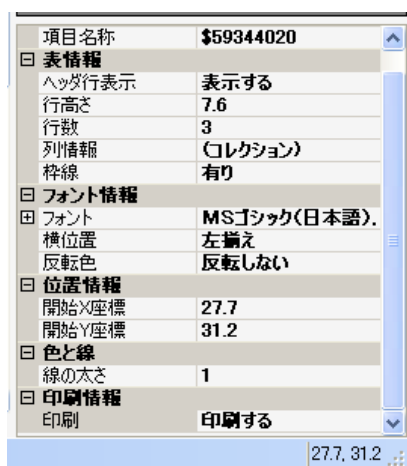
行数／列数を指定し、[設定]ボタンをクリックします。



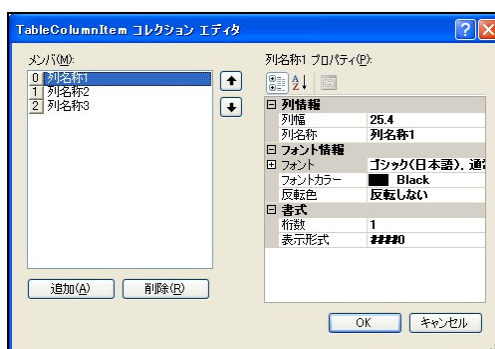
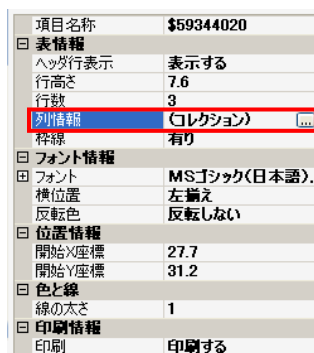
起点で左クリックすると表を描画します。



行の高さは、表情情報の行高さで変更します。



表の幅や列名称などの詳細情報は、列情報から変更できます。



※ 表は1つのレイアウトに対して複数挿入することはできません。

8.10 非表示データを入力するには

サイドボタンの[非表示データ]をクリックし、[変数]をクリックします。



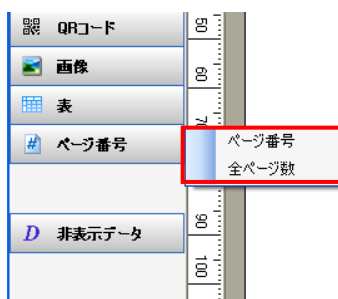
項目ビューに非表示データが追加され、項目名称/データ内容が入力できます。

項目名称	種類	データ内容
\$41459272	非表示変数	未

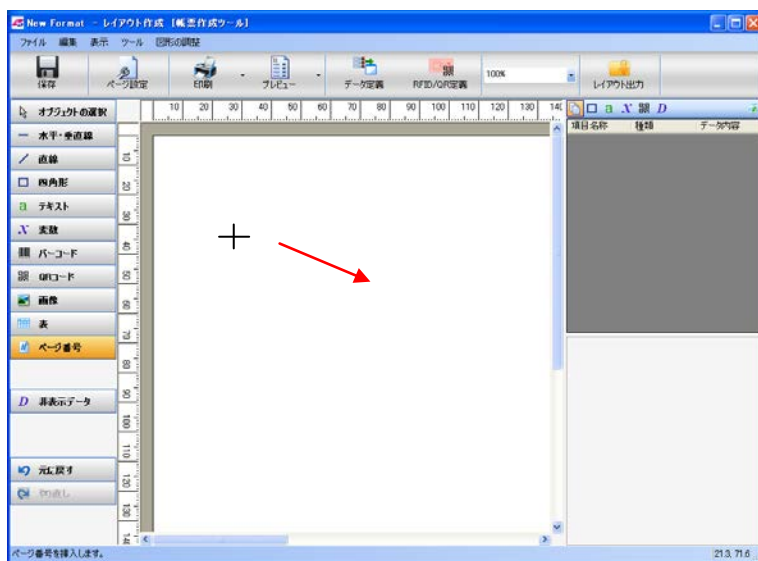
非表示データに設定した情報は、印刷しません。

8.11 ページ番号を挿入するには

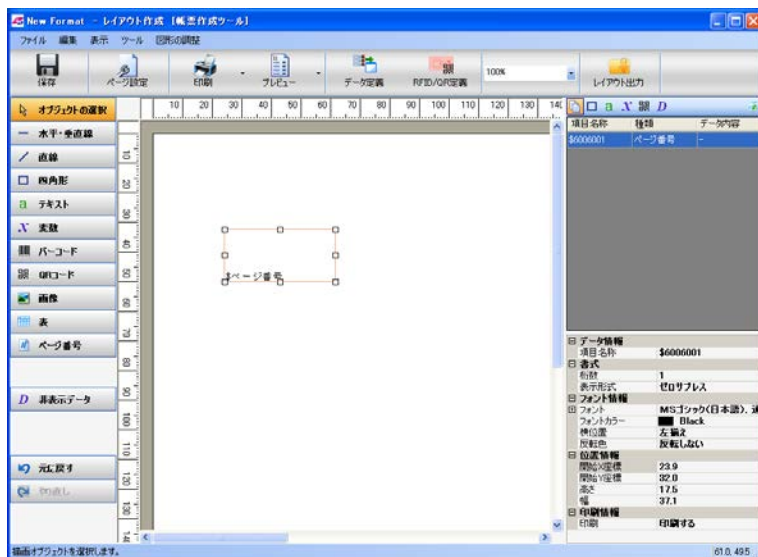
サイドボタンの[ページ番号]をクリックし、[ページ番号]または[全ページ数]を選択します。



起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。



終点でマウスの左ボタンを離すと枠を描画します。

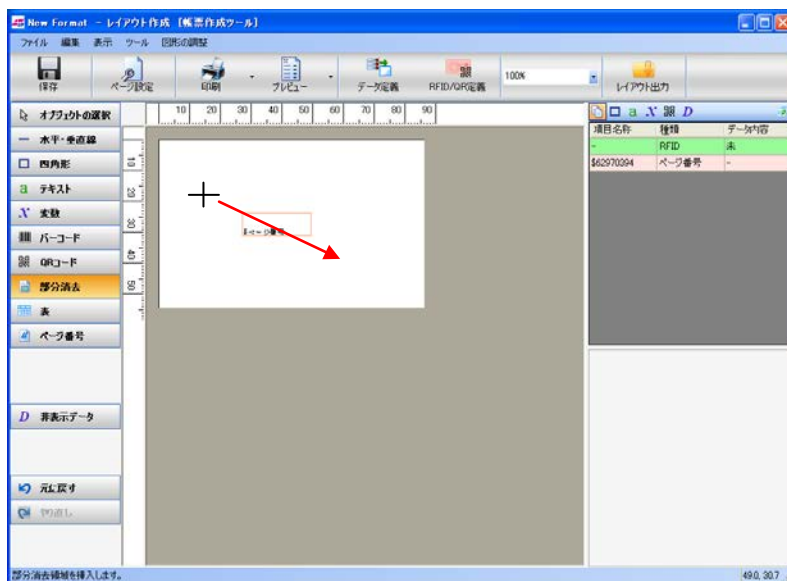


8.1.2 部分消去するには

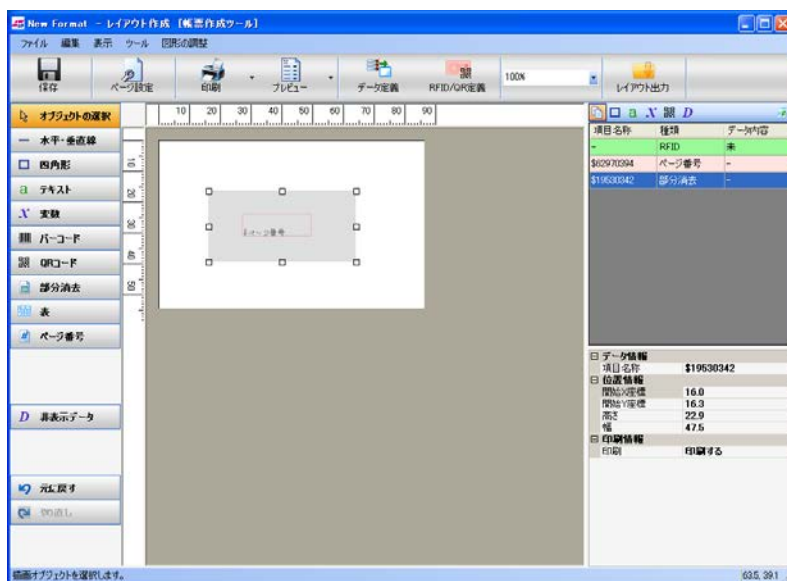
サイドボタンの[部分消去]をクリックします。



起点にカーソルを合わせ、終点までマウスをドラッグします。



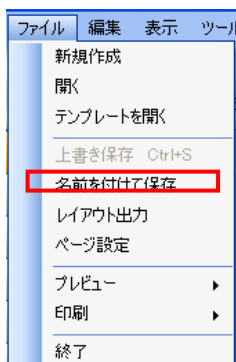
終点でマウスの左ボタンを離すと枠を描画します。



※ 部分消去は、プリンタ種類によって選択できません。
 詳細は「第4章 1. オブジェクトの種類」を参照してください。

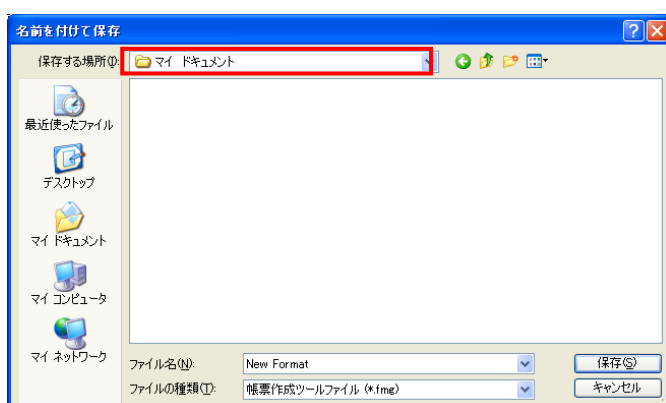
9. 帳票レイアウトをテンプレートとして保存する

メニューの[ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックします。



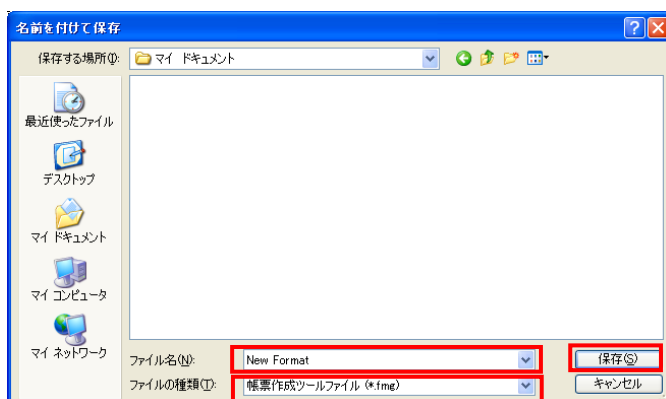
[保存する場所] で、以下のフォルダをクリックします。

C:\¥Program Files¥Common Files¥TOTAL¥FormatGenerator¥Template



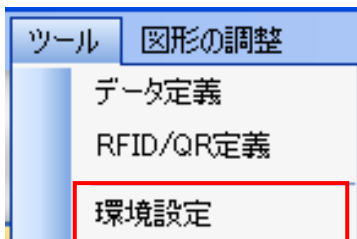
ファイル名を入力します。

ファイルの種類を[帳票設計ツールテンプレートファイル (*.fmt)]をクリックし、[保存] をクリックします。



9.1 環境設定画面の表示

メニューの[ツール]-[環境設定]をクリックします。



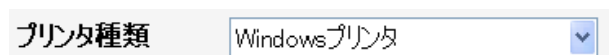
9.2 プリンタ種類の選択

印刷情報の出力先に指定するプリンタの種類を設定します。

プリンタ種類は、以下の中から選択します。

Windows プリンタ/リライトプリンタ/サーマルラベルプリンタ/モバイルプリンタ

※標準版で利用できるプリンタは Windows プリンタ のみです。



9.3 プリンタの設定

[プリンタ設定]ボタンをクリックすると、環境設定ツールを起動します。

操作の説明は「10. プリンタ設定」を参照してください。

※Windows プリンタを選択した場合は設定不要です。

9.4 プリンタの選択

印刷情報の出力先に指定するプリンタの機器を設定します。

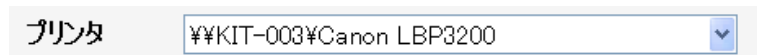
プリンタの種類別に、以下の中から選択します。

【Windows】コンピュータにインストールされているすべてのプリンタ

【リライト】 AP-4390/AP-439A/AP-439B/AP-4300/AP-430A/AP-430B/AP-4380/AP-438A/AP-438B/AP-4361/AP-436B/AP-436C

【サーマルラベル】 AP-4331/AP-4334/AP-4339/AP-433B/AP-433C/AP-4352D/AP-4352T/AP-4355/AP-435A/AP-435B

【モバイルプリンタ】 AP-0922/AP-0924



9.5 用紙種類の選択

印刷する用紙の種類を設定します。




9.6 印字向きを選択

印字の向きを設定します。

印字向き

 縦

 横

9.7 レイアウトサイズ設定

用紙サイズを設定します。

※ 用紙種類によっては変更することができません。

レイアウトサイズ

横 mm

縦 mm

9.8 一般設定

プログラム起動時にテンプレート選択画面を表示するか設定します。

一般設定

新規起動時に毎回テンプレート選択画面を表示する。

9.9 RFID 設定

RFID の種類、開始位置を設定します。

RFID設定

RFID種類

開始位置

RFID 設定は、リライトカードプリンタのみ設定可能となります。

10. プリンタ設定

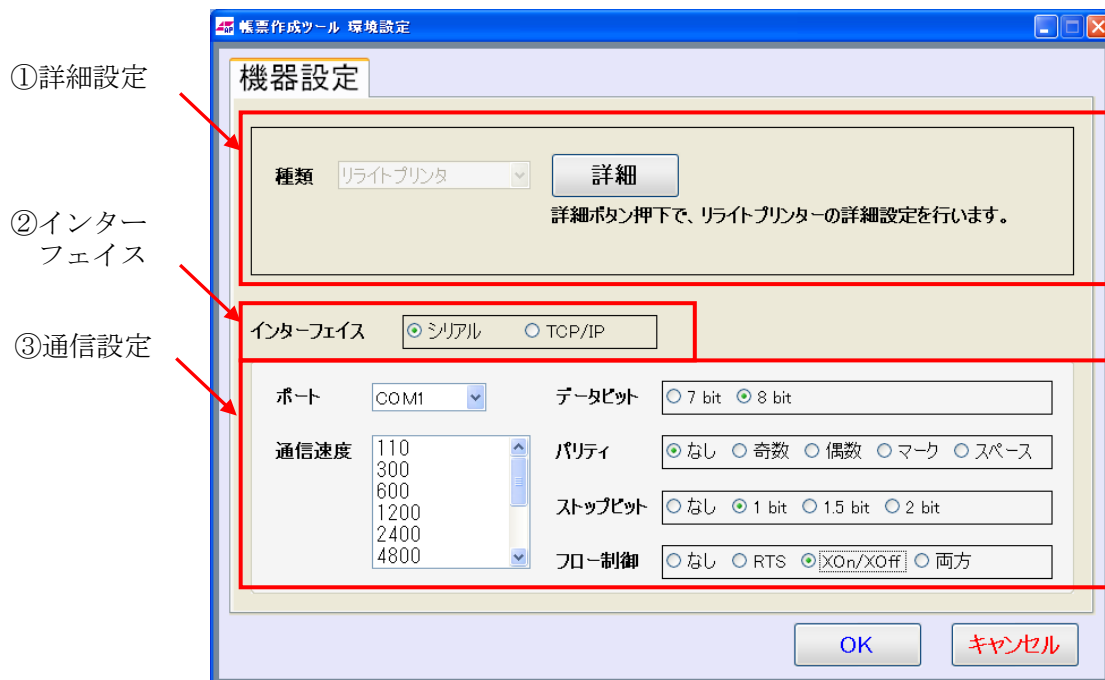
10.1 環境設定ツールの起動

メニューの[ツール]-[環境設定]をクリックで環境設定画面を表示し、
[プリンタ設定]ボタンをクリックします。※Windows プリンタを選択した場合は設定不要です。



10.2 機器設定

環境設定画面で選択したプリンタ種類を引継ぎます。



- ①詳細設定 : 詳細設定画面を表示します。※モバイルプリンタは設定不要です。
- ②インターフェイス : プリンタの接続方法を「シリアル」、「TCP/IP」から選択します。
- ③通信設定 : インターフェイスで選択された通信の設定をします。

【シリアル選択時の通信設定】

(1) → **ポート** COM1

データビット 7 bit 8 bit

通信速度 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 19200

パリティ なし 奇数 偶数 マーク スペース

(2) → **ストップビット** なし 1 bit 1.5 bit 2 bit

フロー制御 なし RTS XOn/XOff 両方

- (1)ポート : プリンタを接続している COM ポートを設定します。
- (2)シリアル設定項目 : シリアル通信に必要な項目を設定します。
※各設定値はプリンタ側の設定に合わせて下さい。

【TCP/IP 選択時の通信設定】

接続先ホスト

接続先ポート

プロトコル tcp udp

プリンタのアドレス、ポート、通信プロトコルを設定します。

10.3 リライト詳細設定画面

リライト 詳細設定

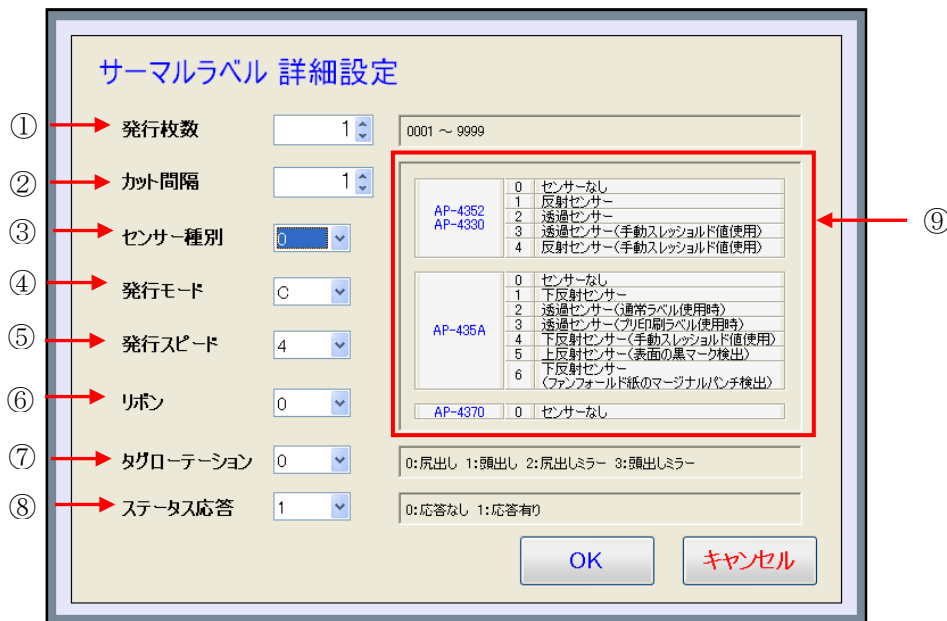
印字濃度

排出方向及び消去設定
3: 消去しながら印字、順方向に排出

OK キャンセル

リライトの印字濃度、排出方向及び消去方法を設定します。

10.4 サーマルラベル詳細設定画面



- ①発行枚数 : ラベルの発行枚数を設定します。
- ②カット間隔 : 用紙カットのページ間隔を設定します。
- ③センサー種別 : センサーの種類を設定します。
- ④発行モード : 連続発行、剥離発行を設定します。
- ⑤発行スピード : ラベルの発行スピードを設定します。
- ⑥リボン : リボンの有無を設定します。
- ⑦タグローテーション : ローテーション方法を設定します。
印刷するイメージを上端または、下端のどちらからプリンタに出力するか指定します。
ミラーに指定すると、印刷画像の垂直軸を中心にして水平方向に反転して印字します。
- ⑧ステータス応答 : ステータスの有無を設定します。
- ⑨選択内容表示部 : 各種設定の選択内容の説明を表示します。

第6章 サポート

1. サポートの範囲

本製品のサポートの範囲につきましてはソフトウェア使用許諾書の範囲でサポート致します。詳細につきましてはソフトウェア使用許諾書をご確認ください。

帳票設計ツール 操作説明書

2014年4月1日 発行

発行
株式会社エイピーリファイン
〒472-0056
愛知県知立市宝2丁目6-16 宝BOX